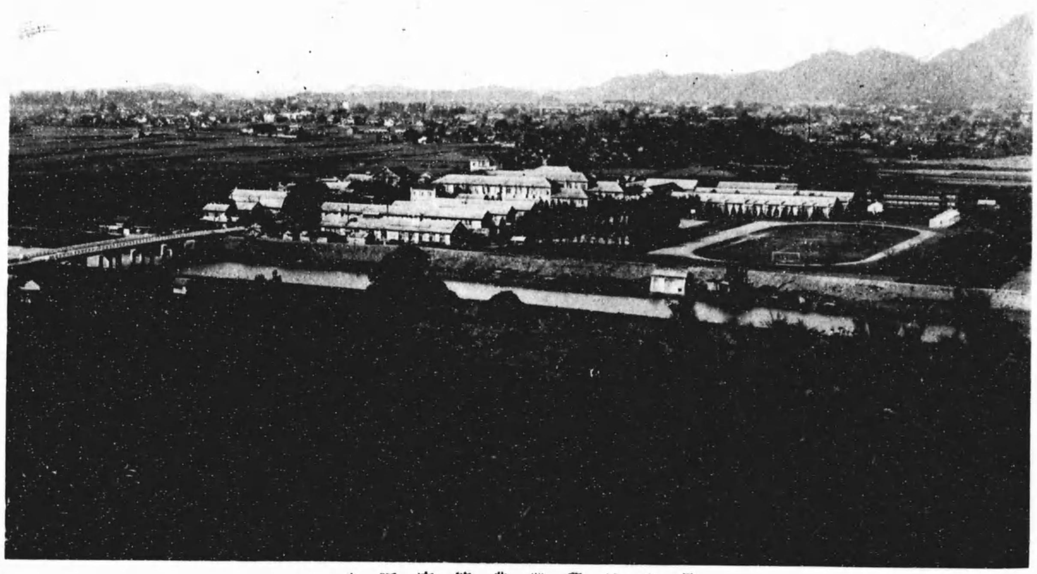
# 鳥取高等農業學校一覽

自昭和九年
至昭和十年



鳥取高等農業學校全景

鳥取高等農業学校全景

# 鳥取高等農業學校一覽

目次


Ⅰ 沿　革 ---- 1

Ⅱ 法　令 ---- 5

1 文部省直轄諸學校官制抄 ---- 5
2 文部省直轄諸學校職員定員令抄 ---- 8
3 文部省直轄諸學校長特別任用規程 ---- 8
4 文部省直轄諸學校長職務規程 ---- 8
5 實業學校令抄 ---- 9
6 專門學校令抄 ---- 9
7 專門學校入學者檢定規程 ---- 10
8 專門學校入學者資格ニ關スル件 ---- 12
9 教員無試驗檢定ニ關スル件 ---- 13
10 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程抄 ---- 13
11 臺灣人朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ外國人特別入學規程準用 ---- 14
12 高等官官等俸給令抄 ---- 14
13 判任官俸給令抄 ---- 18
14 奏任文官及判任文官ノ優遇ニ關スル件 ---- 19
15 官吏服務規律 ---- 20
16 鳥取高等農業學校規程 ---- 22

諸規則及細則 ---- 22

1 學年曆 ---- 22



發行所寄贈本

昭和九.

2 鳥取高等農業學校規則 ---- 23
3 事務規程 ---- 35
4 文書處理規程 ---- 41
5 職員服務心得 ---- 43
6 當直規程 ---- 44
7 物品會計細則 ---- 46
8 學校醫職務規程 ---- 53
9 學生心得 ---- 54
10 總代規程 ---- 55
11 學生制服規程 ---- 55
12 寄宿舍規則 ---- 57
13 寄宿料徵收規程 ---- 60
14 通學生取締規則 ---- 61
15 圖書館規則 ---- 61
16 實驗農場規程 ---- 64
17 養蠶室規程 ---- 65
18 養蠶實習規程 ---- 66
19 警備及非常手配規程 ---- 66
20 清潔方法 ---- 71
21 山田農學博士奬學資金 ---- 73
22 守衛服務心得 ---- 73
23 常傭人服務心得 ---- 74
24 常傭人被服規程 ---- 76
25 參觀人心得 ---- 77



Ⅲ 職員 ---- 78
Ⅴ 學生 ---- 81
1 學生氏名 ---- 81
2 學生年齡 ---- 86
3 在學生府縣別調 ---- 87
4 入學志願者及入學者數 ---- 89
Ⅵ 卒業生氏名 ---- 89
1 卒業生年度別表 ---- 105
2 卒業生卒業後ノ狀況 ---- 105
3 卒業生地方分布ノ狀況 ---- 106
Ⅶ 土地建物 ---- 107
1 土地 ---- 107
2 建物 ---- 108

附錄

鳥取高等農業學校校友會會則 ---- 112
鳥取農學會會則 ---- 114

291-63

# 鳥取高等農業學校一覽

## 沿革

○大正九年十一月二十六日勅令第五百四十一號ヲ以テ本校ノ設立ヲ公布セラレ同日勅令第五百五十二號ヲ以テ職員定員ヲ定メラル

○大正十年一月十日文部省内ニ本校事務所ヲ設置シ事務ヲ開始ス

一月十八日盛岡高等農林學校教授山田玄太郎校長ニ任セラル

二月八日文部省告示第四十一號ヲ以テ本校ノ位置ヲ鳥取市トシ大正十年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示セラル

二月十日本校規則ヲ制定ス

二月二十五日文部省内本校事務所ヲ鳥取市ニ新設ノ本校内ニ移ス

三月二十八日ヨリ三日間本校及東京ニ於テ第一回入學試驗ヲ行ヘリ

四月四日農學科ニ四十名、農藝化學科ニ三十名入學ヲ許可セリ

四月十五日入學式ヲ行ヒ授業ヲ開始セリ

四月二十六日勅令第百七十號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

七月二十五日ヨリ二週間本校ニ於テ文部省主催ノ實業學校教員夏期講習會ヲ開催セラル

十月七日　天皇　皇后兩陛下ノ御眞影竝　皇太子殿下ノ御影ヲ下賜セラル

○大正十一年三月十八日ヨリ三日間本校及東京ニ於テ第二回入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十三日農學科ニ四十一名、農藝化學科ニ三十二名入學ヲ許可セリ

四月二十八日開校式ヲ擧行ス文部大臣代理トシテ山崎實業學務局長

臨場セラル

四月二十九日勅令第二百四十二號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

○大正十二年三月二十三日ヨリ三日間本校及東京、廣島ノ三ケ所ニ於テ第三回入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十八日農學科ニ三十九名、農藝化學科ニ二十九名入學ヲ許可セリ

五月八日勅令第二百二十九號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

○大正十三年三月十八日第一回卒業式ヲ擧行シ農學科三十一名、農藝化學科二十一名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十七日ヨリ三日間本校及金澤、廣島ノ三ケ所ニ於テ第四回入學試驗ヲ行ヘリ

三月三十一日農學科ニ四十名、農藝化學科ニ三十名入學ヲ許可セリ

八月四日ヨリ十日間第一回夏期講習會ヲ開キ講習員八十二名ニ講習證書ヲ授與セリ

○大正十四年三月十五日第二回卒業式ヲ擧行シ農學科三十四名、農藝化學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十五日ヨリ三日間本校及東京、京都、廣島ノ四ケ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月三十日農學科ニ四十一名、農藝化學科ニ二十九名入學ヲ許可セリ

八月三日ヨリ六日間第二回夏期講習會ヲ開キ講習員三十七名ニ講習證書ヲ授與セリ

○大正十五年三月十五日第三回卒業式ヲ擧行シ農學科三十五名、農藝化學科二十六名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十五日ヨリ三日間本校及東京、京都、廣島ノ四ケ所ニ於テ入



學試驗ヲ行ヘリ

三月三十一日農學科ニ四十二名、農藝化學科ニ三十三名入學ヲ許可セリ

七月二十七日ヨリ八月三日迄本校ニ於テ文部省主催ノ實業學校教員夏期講習會ヲ開催セラル

○昭和二年三月十五日第四回卒業式ヲ擧行シ農學科三十六名、農藝化學科二十七名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十日ヨリ三日間本校及東京、京都、廣島ノ四ケ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十五日農學科ニ三十八名、農藝化學科ニ二十六名入學ヲ許可セリ

八月一日ヨリ六日間本校ニ於テ第三回夏期講習會ヲ開キ講習員八十五名ニ講習證書ヲ授與セリ

十二月二十七日勅令第三百六十六號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル

○昭和三年三月十五日第五回卒業式ヲ擧行シ農學科三十六名、農藝化學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十三日ヨリ二日間本校及東京、京都、廣島ノ四ケ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十七日農學科ニ四十一名、農藝化學科ニ三十名入學ヲ許可セリ

八月一日ヨリ六日間本校ニ於テ第四回夏期講習會ヲ開キ講習員六十七名ニ講習證書ヲ授與セリ

十月九日　天皇　皇后兩陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル

○昭和四年三月十五日第六回卒業式ヲ擧行シ農學科四十名、農藝化學科二十六名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月十九日ヨリ二日間本校及東京、京都、廣島ノ四ケ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十三日農學科ニ四十一名、農藝化學科ニ三十名入學ヲ許可セリ

○昭和五年三月十五日第七回卒業式ヲ擧行シ農學科三十七名、農藝化學科二十九名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十三日ヨリ二日間本校及高田、京都、廣島ノ四ケ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十七日農學科ニ四十二名、農藝化學科ニ三十三名入學ヲ許可セリ

十月十七日本校ニ於テ日本農學會臨時大會ヲ開催セリ

○昭和六年二月五日　天皇　皇后兩陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル同時ニ舊御眞影ヲ奉還ス

三月十五日第八回卒業式ヲ擧行シ農學科三十五名、農藝化學科二十七名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月十九日ヨリ二日間本校及東京、京都、廣島ノ四ケ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十三日農學科ニ四十名、農藝化學科ニ三十一名入學ヲ許可セリ

四月十五日創立十周年記念式ヲ擧行セリ

四月二十四日二十五日兩日近畿關西農業學校長會議ヲ開催ス

○昭和七年三月十五日第九回卒業式ヲ擧行シ農學科三十七名、農藝化學科二十七名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十三日ヨリ二日間本校及東京、京都、廣島ノ四ケ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ



三月二十七日農學科ニ四十七名、農藝化學科ニ三十一名入學ヲ許可セリ

○昭和八年三月十五日第十回卒業式ヲ擧行シ農學科三十六名、農藝化學科三十名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月十九日ヨリ二日間本校及東京、京都、廣島、福岡ノ五ケ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十三日農學科ニ四十五名、農藝化學科ニ四十五名入學ヲ許可セリ

十月二十四日ヨリ五日間文部省主催ノ中等學校教員講習會ヲ開催セラル

○昭和九年三月十五日第十一回卒業式ヲ擧行シ農學科三十二名、農藝化學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與セリ

三月二十三日ヨリ二日間本校及東京、京都、廣島、福岡ノ五ケ所ニ於テ入學試驗ヲ行ヘリ

三月二十七日農學科ニ四十五名、農藝化學科ニ四十五名入學ヲ許可セリ

## Ⅱ　法　　令

### 1. 文部省直轄諸學校官制抄　（明治二十六年勅令第八十六號）

第一條　文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

| | |
|---|---|
| 東京女子高等師範學校 | 奈良女子高等師範學校 |
| 盛岡高等農林學校 | 鹿兒島高等農林學校 |
| 上田蠶絲專門學校 | 東京高等蠶絲學校 |
| 京都高等蠶絲學校 | 鳥取高等農業學校 |
| 三重高等農林學校 | 宇都宮高等農林學校 |

岐阜高等農林學校　宮崎高等農林學校
千葉高等園藝學校　長崎高等商業學校
山口高等商業學校　小樽高等商業學校
名古屋高等商業學校　福島高等商業學校
大分高等商業學校　彦根高等商業學校
和歌山高等商業學校　横濱高等商業學校
高松高等商業學校　高岡高等商業學校
第一高等學校　第二高等學校
第三高等學校　第四高等學校
第五高等學校　第六高等學校
第七高等學校造士館　第八高等學校
新潟高等學校　松本高等學校
山口高等學校　松山高等學校
水戸高等學校　山形高等學校
佐賀高等學校　弘前高等學校
松江高等學校　東京高等學校
大阪高等學校　浦和高等學校
福岡高等學校　靜岡高等學校
高知高等學校　姫路高等學校
廣島高等學校　富山藥學專門學校
熊本藥學專門學校　京都高等工藝學校
名古屋高等工業學校　熊本高等工業學校
米澤高等工業學校　桐生高等工業學校
横濱高等工業學校　廣島高等工業學校
金澤高等工業學校　仙臺高等工業學校
明治專門學校　東京高等工藝學校
神戸高等工業學校　濱松高等工業學校



德島高等工業學校　長岡高等工業學校
福井高等工業學校　山梨高等工業學校
秋田鑛山專門學校　東京高等商船學校
神戸高等商船學校　東京外國語學校
大阪外國語學校　東京高等歯科醫學校
東京美術學校　東京音樂學校
東京盲學校　東京聾啞學校

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　教授　生徒主事　助教授
書記　生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ受ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十條ノ二　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗

ノ補助ニ從事ス

第十七條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムル事ヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

## 2. 文部省直轄諸學校職員定員令抄　(明治三十五年勅令第九十九號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

| | 校長 | 教授 | 助教授 | 助手 | 書記 |
|---|---|---|---|---|---|
| 鳥取高等農業學校 | 1 | 16 | 8 | 1 | 6 |

## 3. 文部省直轄諸學校長特別任用規程　(大正二年六月勅令第二百三十七號)

文部省直轄諸學校長ハ勅任教官ノ職ニ在リタル者又ハ三年以上奏任教官ノ職ニ在リタル者ノ中ヨリ文官高等試驗委員ノ詮衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

## 4. 文部省直轄諸學校長職務規程　(大正二年六月文部大臣訓令)

第一條　校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條　校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條　左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一　教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト



第二　規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三　俸給月額八拾五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四　教官以下ノ內國各地出張ニ關スルコト

第五　教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

第六　講師ノ解嘱及其ノ報酬減額ニ關スルコト

第七　經費中ノ目ヲ流用スルコト

第八　三日以內ノ臨時休業ヲ爲スコト

第四條　前條ニ揭ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

## 5. 實業學校令抄　(明治三十二年勅令第二十九號)

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル智識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校水產學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス

獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第二條ノ二　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

第八條　實業學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四條　實業學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第十五條　本令施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

## 6. 專門學校令抄　(明治三十六年勅令第六十一號)

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術、音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度竝豫科研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度竝豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十二條　第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

## 7. 專門學校入學者檢定規程　（大正十三年文部省令第二十二號）

第一條　專門學校ノ本科ニ入學セムトスル者ニシテ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ本令ニ依リ學力ノ檢定ヲ受クヘシ

第二條　檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トス

第三條　試驗檢定ハ毎年少クトモ一回之ヲ行フ



試驗檢定ノ出願期限、試驗施行ノ期日及場所ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ告示ス

第四條　試驗檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業程度トス但シ中學校若ハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條　試驗檢定ヲ受ケムトスル者ハ受驗願書（第一號書式）ニ左ノ書類ヲ添ヘ受驗地ノ地方廳ヲ經由シ文部大臣ニ出願スヘシ

1. 履歷書（第二號書式）
2. 戸籍抄本
3. 寫眞（手札形トシ出願前三月以內ニ脫帽ニテ撮影シタルモノニシテ裏面ニ撮影年月日本籍氏名ヲ記載スヘシ）
4. 第七條第二項ニ依ル證明書ノ寫又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ノ寫
5. 第八條ノ資格ヲ證明スル書面

第六條　試驗檢定ヲ受ケムトスル者ハ手數料トシテ金五圓ヲ納付スヘシ

第七條　試驗檢定ニ合格シタル者ニハ合格證書（第三號書式）ヲ交付ス

試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ之ニ合格セサルモ受驗學科目中合格點ヲ得タルモノアルトキハ其ノ證明書（第四號書式）ヲ交付ス

前項ノ證明書ヲ有スル者ニシテ試驗檢定ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス

前項ノ規定ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニ付之ヲ準用ス

第八條　試驗檢定ノ學科目中一科目又ハ數科目ニ就キ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト認ム

ル者ニ對シテハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス

第九條　合格證書ヲ有スル者其ノ氏名本籍ヲ變更シ又ハ合格證書ヲ亡失毀損シタルトキハ其ノ書換若ハ再交付ヲ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ合格證書ノ書換若ハ再交付ヲ出願スル者ハ手數料トシテ金壹圓ヲ納付スヘシ

第十條　試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタル者ニ對シテハ其ノ試驗ヲ停止シ尙期間ヲ定メテ試驗ヲ受ケシメサルコトアルヘシ

大正七年文部省令第三號高等試驗令第七條及第八條ニ關スル件第八條ニ依リ試驗ヲ停止セラレタル者ハ其ノ停止セラレタル期間本令ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタルコト後日發覺シタルトキハ既ニ交付シタル合格證書又ハ證明書ハ其ノ効力ヲ失フ

第十一條　無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ入學ノ際之ヲ行フ

無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ文部大臣ニ於テ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者ニ限ル

前項ノ指定ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條　本令ニ依リ納付スヘキ手數料ハ收入印紙ヲ用ヰ之ヲ願書ニ貼付スヘシ其ノ既ニ納メタル後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

（書式省略）

## 8. 專門學校入學者資格ニ關スル件　（大正十三年文部省告示第百九號）

專門學校入學者檢定規程第八條第一號（註改正規程第十一條ニ相當）ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指



定ス

1. 男子實業學校卒業者

   但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル
2. 修業年限二年ノ高等女學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者
3. 實科高等女學校及高等女學校實科卒業者
4. 女子實業學校卒業者

   但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限四年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限二年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル

## 9. 教員無試驗檢定ニ關スル件　（大正十三年文部省告示第百五十二號）

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名學科目中左ノ通改正ス

鳥取高等農業學校ノ項ヲ左ノ如ク定ム

鳥取高等農業學校

| | | | |
|---|---|---|---|
| 農學科 | 農業 | 動物 | （第三學年ニ於テ動物學特別講義及動物學實驗每週八時間以上ヲ選擇シ成績優等ナル者ニ限ル） |
| | | 植物 | （第三學年ニ於テ植物學特別講義及植物學實驗每週八時間以上ヲ選擇シ成績優等ナル者ニ限ル） |
| 農藝化學科 | 化學 | | （當該科目成績優等ナル者ニ限ル） |
| | 農業 | | |

## 10. 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程抄

（明治三十四年文部省令第十五號）

第一條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規程ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケムトスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ニ依リ教授ヲ受ケムトスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタルモノニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條　本令ノ規程ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケムトスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條　本令ノ規程ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

## 11. 臺灣人朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ外國人特別入學規程準用　（明治四十四年文部省令第十六號）

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

## 12. 高等官官等俸給令抄　（明治四十三年勅令第百三十四號）

第一條　親任式ヲ以テ敍任スル官ヲ除クノ外高等官ヲ分テ九等トス親任式ヲ以テ敍任スル官及一等官二等官ヲ勅任官トシ三等官乃至九等



官ヲ奏任官トス

第三條　高等官ノ官等ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第一表ニ依ル官制上他ノ官ニ在ル者ヲ以テ兼任セシムル官ニシテ別ニ官等ヲ定メサルモノハ本官ノ官等ニ依ル

第四條　初メテ高等文官ニ任セラルル者ノ官等ハ六等以下トス高等文官ニシテ退官シタル者再ヒ高等文官ニ任セラルル場合ニ於テハ其ノ官等ハ前官ノ官等以下トス但シ前官官等在職年數二年ヲ超ヘタル者ハ前官ノ官等ニ一等ヲ進ムルコトヲ得

前官ノ官等七等以下ナルトキハ前項ノ規程ニ拘ラス陞シテ六等官ニ至ルコトヲ得

第五條　高等文官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタルモノ及七等以下ノモノヲ除キ在職二年ヲ超ユルニ非サレハ陞敍スルコトヲ得ス

第九條　勅任文官（親任式ヲ以テ敍任スル文官ヲ除ク）ニシテ五年以上其ノ官ノ最高俸ヲ受ケテ在職シ功績顯著ナル者ニハ特ニ六百圓以内ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ勅任文官（親任式ヲ以テ敍任スル文官ヲ除ク）ノ在職年數ニシテ現官ノ最高俸額以上ノ俸給ヲ受ケタル年數ハ之ヲ現官ノ最高俸ヲ受ケタル在職年數ニ通算ス

前項ノ規定ニ依リ在職年數ヲ通算シ五年以上ニ及フ者ヲ勅任文官ニ任スル際ハ特ニ第一項ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

第九條ノ二　高等官二等ヲ最高官等トスル勅任文官ニシテ三年以上（各省參與官ニ在リテハ二年以上）高等官二等ニ在職シ功績顯著ナル者ハ特ニ高等官一等ニ陞敍スルコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ高等官一等又ハ高等官二等ヲ最高官等トスル勅任文官ノ高等官二等以上ノ在職年數ハ之ヲ現官ノ高等官二等

ノ在職年數ニ通算ス

前官高等官一等ノ勅任文官ニ在リタル者ヲ高等官二等ヲ最高官等トスル勅任文官ニ任スル場合ニ於テハ特ニ高等官一等ニ敍スルコトヲ得

第十條　(抄出)文部省直轄諸學校教授ニシテ五年以上高等官三等ニ在リ功績アル者ハ通シテ七十七人ヲ限リ高等官二等ニ陞敍スルコトヲ得但シ各校二人ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條　奏任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第二表各號ノ一ニ依ル

第十三條　別表第二表第一號ニ依ル官ノ官等ハ高等官三等乃至七等、同第二號ニ依ルモノハ高等官四等乃至八等、同第三號ニ依ルモノハ高等官五等以下トス

第十四條　別表第二表第一號ニ依ル諸官左ノ如シ(抄)

文部省直轄諸學校教授

第十九條　別表第二表第一號乃至第三號又ハ別表第五表ニ依ル奏任文官ニシテ五年以上各其ノ官ノ一級俸ヲ受ケテ在職シ功績顯著ナル者ニハ特ニ六百圓以內ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ高等文官ノ在職年數ニシテ現官ノ一級俸額以上ノ俸給ヲ受ケタル年數ハ之ヲ現官ノ一級俸ヲ受ケタル在職年數ニ通算ス

前項ノ規定ニ依リ在職年數ヲ通算シ五年以上ニ及フ者ヲ奏任文官ニ任スル際ハ特ニ第一項ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

第二十一條　第九條ノ二第二項、第十七條第六項及前條第二項ノ規定ニ依リ在職年數ヲ通算シテ官等ヲ陞敍スル場合ニ於テハ第五條第一項ノ規定ノ適用ヲ妨ケス



第二十三條　高等文官死亡シタルトキハ在職最終年俸三分ノ一ノ額ニ相當スル死亡賜金ヲ其ノ遺族ニ給ス

前項遺族ト稱スルハ配偶者、子、父母、孫、祖父母及兄弟姉妹ニシテ同一戶籍內ニ在ル者ヲ謂フ

第一項ノ死亡賜金ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ揭ケタル順序ニ依リ同順位內ニ在リテハ家督相續人ハ其ノ他ノ者ニ、男ハ女ニ、長ハ幼ニ先ツ

第二項ノ遺族ナキ場合ニ於テハ實家ニ在ル實父母、家督相續人、戶主ノ順位ニ依リ第一項ニ定ムル金額ノ二分ノ一ヲ給スルコトヲ得

終身官ニ付テハ其ノ在職中死亡シタル場合ニ限リ前四項ノ規定ヲ適用ス

第二十四條　年俸ハ十二分シテ每月之ヲ支給ス

第二十五條　俸給ハ新任增俸減俸トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算ス但シ廢官又ハ廢廳ニ因ル退官者即日他官ニ任セラルルトキハ發令ノ當日ヨリ計算ス

休職又ハ待命ヲ命セラレ年俸全額ヲ給セサル場合ハ減俸ト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第二十六條　俸給令ノ改正ニ因リ新ニ給スヘキ俸給ハ改正規定施行ノ日ヨリ之ヲ計算ス

第二十七條　廢官退官退職及死亡ノトキハ年俸ヲ月割計算トシ當月分ノ全額ヲ給ス

第二十八條　休職廢官退官ノ者事務引繼殘務調理ノ爲特ニ命ヲ受ケ事務ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ間仍從前ノ年俸ヲ給ス

第二十九條　病氣ノ爲執務セサルコト九十日ヲ超ユル者及私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ超ユル者ハ俸給ノ半額ヲ減ス但シ公

務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受クル者及特旨ニ由リ賜暇休養スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二表　第一號

奏任文官年俸表（文部省直轄諸學校教授ハ本表ニ依ル）

| 一級 | 二級 | 三級 | 四級 | 五級 | 六級 | 七級 | 八級 | 九級 | 十級 | 十一級 | 十二級 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4.050円 | 3.660円 | 3.400円 | 3.050円 | 2.770円 | 2.420円 | 2.150円 | 1.820円 | 1.650円 | 1.470円 | 1.300円 | 1.130円 |

第　四　表

| 官名＼級俸 | 一級 | 二級 | 三級 | 四級 | 五級 |
|---|---|---|---|---|---|
| 文部省直轄諸學校長 | 4.650円 | 4.300円 | 4.050円 | | |
| 奏任タルモノ但シ東京盲學校長東京聾唖學校長ヲ除ク | 4.050円 | 3.660円 | 3.400円 | 3.050円 | 2.770円 |

## 13. 判任官俸給令抄（明治四十三年勅令第百三十五號）

第一條　判任官ノ月俸ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表ニ依ル

第三條　判任文官ハ每級在職一年以上ニ至ラサレハ增給スルコトヲ得ス但シ六級俸以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　判任文官ニシテ一級俸ヲ受ケ五年ヲ超エ事務練熟優等ナル者ハ特ニ百八拾圓迄ヲ給スルコトヲ得

第五條　判任文官ノ俸給ハ月俸七拾五圓未滿ノ者ニ限リ級俸ニ拘ラス適宜ノ金額ヲ定メ之ヲ支給スルコトヲ得但シ各所定ノ最低俸給額ヲ下ルコトヲ得ス

第十二條　前三條ノ判任文官最上級俸ヲ受ケ三年ヲ超エ事務練熟優等ナル者ハ特ニ月額拾圓以內ヲ加給スルコトヲ得



第十三條　判任官死亡シタルトキハ在職最終月俸四月分ノ額ニ相當スル死亡賜金ヲ其ノ遺族ニ給ス

前項遺族ト稱スルハ配偶者、子、父母、孫、祖父母及兄弟姉妹ニシテ同一戶籍內ニ在ル者ヲ謂フ

第一項ノ死亡賜金ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ揭ケタル順序ニ依リ同順位內ニ在リテハ家督相續人ハ其ノ他ノ者ニ、男ハ女ニ、長ハ幼ニ先ツ

第二項ノ遺族ナキ場合ニ於テハ實家ニ在ル實父母、家督相續人、戶主ノ順位ニ依リ第一項ニ定ムル金額ノ二分ノ一ヲ給スルコトヲ得

第十四條　月俸ハ每月下旬之ヲ支給ス

前項ノ外俸給ノ支給ニ關シテハ高等官官等俸給令ノ例ニ依ル

別　表

| 級俸 | 一級俸 | 二級俸 | 三級俸 | 四級俸 | 五級俸 | 六級俸 | 七級俸 | 八級俸 | 九級俸 | 十級俸 | 十一級俸 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 月額 | 145円 | 125円 | 110円 | 95円 | 85円 | 75円 | 65円 | 55円 | 50円 | 45円 | 40円 |

## 14. 奏任文官及判任文官ノ優遇ニ關スル件（大正十年勅令第二百二十三號）

第一條　高等官官等俸給令別表第二表第一號、第三表及第五表ニ依ル奏任文官ニシテ引續キ五年以上高等官三等ニ在職シ功績顯著ナル者ハ特ニ之ヲ勅任官ノ待遇ト爲スコトヲ得但シ帝國大學教授、官立大學教授、行政裁判所評定官及高等官四等ヲ最高官等トスル奏任文官ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條　判任文官ニシテ引續キ五年以上一級俸ヲ受ケテ在職シ事務練熟優等ナル者ハ特ニ之ヲ奏任官ノ待遇ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ノ待遇相當官等ハ高等官六等以下トス

第一項ノ規定ニ依リ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ハ之ヲ主事ト稱ス

## 15. 官吏服務規律 (明治二十年勅令第三十九號)

第一條　凡ソ官吏ハ　天皇陛下及　天皇陛下ノ政府ニ對シ忠順勤勉ヲ主トシ法律命令ニ從ヒ各其ノ職務ヲ盡スヘシ

第二條　官吏ハ其ノ職務ニ付本屬長官ノ命令ヲ遵守スヘシ但シ其ノ命令ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第三條　官吏ハ職務ノ內外ヲ問ハス廉恥ヲ重シ貪汚ノ所爲アルヘカラス

官吏ハ職務ノ內外ヲ問ハス威權ヲ濫用セス謹愼懇切ナルコトヲ務ムヘシ

第四條　官吏ハ己ノ職務ニ關スルト又ハ他ノ官吏ヨリ聞知シタルトヲ問ハス官ノ機密ヲ漏洩スルコトヲ禁ス其ノ職ヲ退ク後ニ於テモ亦同樣トス

裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上ノ秘密ニ就キ訊問ヲ受クルトキハ本屬長官ノ許可ヲ得タル件ニ限リ供述スルコトヲ得

第五條　官吏ハ私ニ職務上未發ノ文書ヲ關係人ニ漏示スルコトヲ禁ス

第六條　官吏ハ本屬長官ノ許可ナクシテ擅ニ職務ヲ離レ及職務上居住ノ地ヲ離ルルコトヲ得ス

第七條　官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ營業會社ノ社長又ハ役員トナルコトヲ得ス

第八條　官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ職務ニ關シ慰勞又ハ謝儀又ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ直接ト間接トヲ問ハス總テ他



人ノ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス

官吏外國ノ君主又ハ政府ヨリ授與セムトスル所ノ勳章榮賜俸給竝贈遺ヲ受クルニハ　天皇陛下ノ裁可ヲ要ス

第九條　左ニ揭ケタル者ト直接ニ關係ノ職務ニ居ルノ官吏ハ其ノ饗燕ヲ受クルコトヲ得ス

1. 官廳ノ工事ヲ受負フ者
2. 官廳ノ爲替方又ハ出納ヲ引受クル者
3. 官廳ノ補助金ヲ受クル起業者
4. 官廳ノ用品ヲ調達スル者
5. 官廳ト諸般ノ契約ヲ結フ者

第十條　凡ソ上官タル者ハ職務ノ內外ヲ問ハス所屬官吏ヨリ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス

第十一條　官吏竝其ノ家族ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ直接ト間接トヲ問ハス商業ヲ營ムコトヲ得ス

第十二條　官吏ハ取引相場會社ノ社員タルコトヲ得ス及間接ニ相場商業ニ關係スルコトヲ得ス

第十三條　官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ本職ノ外ニ給料ヲ得テ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス

第十四條　浪費シテ產ヲ破リ其ノ分ニ應セサル負債ヲ爲ス者ハ過失ノ一タルヘシ

第十五條　官吏ハ私立郵船會社又ハ私立鐵道會社ヨリ無賃乘船無賃乘車切符ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條　凡ソ局長所長其ノ他一部ノ長ハ各所屬官吏ヲ監督シ其ノ過失若シ懲戒處分ヲ行フノ區域ノ內ニ在ラサル者ハ之ヲ訓告スルコトヲ務ムヘシ若シ懲戒處分ヲ要スト認ムルトキハ事狀ヲ具ヘテ之ヲ本

屬長官ニ稟告スヘシ其ノ情ヲ知リ隱蔽シテ稟告セサル者亦過失タルコトヲ免レス

第十七條　本紀律ハ高等官判任官及俸給ヲ得テ公務ヲ奉スル者ニ適用ス

## 16. 鳥取高等農業學校規程　(大正十年 文部省令第九號)

第一條　鳥取高等農業學校ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條　鳥取高等農業學校ノ學科ハ農學科及農藝化學科トス

第三條　鳥取高等農業學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ每週授業時數ヲ增減シ又休業中實習實驗ヲ課シ若ハ特別講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

（學科課程省略）

第四條　卒業者ニシテ既修ノ學科目ニ付更ニ研究セムトスル者ハ研究生トシテ二箇年以內在學セシムルコトヲ得

第五條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇シテ學修セムトスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

# Ⅲ　諸規則及細則

## 1. 學　年　曆

| | |
|---|---|
| 四月一日 | 第一學期授業始 |
| 四月三日 | 休業（神武天皇祭） |
| 四月廿九日 | 天長節 |
| 七月廿一日 | 夏期休業始 |
| 九月十日 | 夏期休業終 |



| | |
|---|---|
| 九月十一日 | 第二學期授業始 |
| 秋分ノ日 | 休業（秋季皇靈祭） |
| 十月十七日 | 休業（神嘗祭） |
| 十一月三日 | 明治節 |
| 十一月廿三日 | 休業（新嘗祭） |
| 十一月廿六日 | 學校記念日 |
| 十二月廿一日 | 冬期休業始 |
| 一月一日 | 新年拜賀式 |
| 一月十六日 | 冬期休業終 |
| 二月十一日 | 紀元節 |
| 春分ノ日 | 休業（春季皇靈祭） |
| 三月卅一日 | 第二學期終 |

## 2. 鳥取高等農業學校規則

### 第一章　總　則

第一條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農業ニ須要ナル高等ノ學術技藝ヲ教授シ併セテ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ヲ目的トス

第二條　本校ニ農學科及農藝化學科ヲ置ク

第三條　各學科ノ修業年限ハ三箇年トス

第四條　本校ニ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ

### 第二章　學年、學期、休業日

第五條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六條　學年ヲ分チテ二學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ九月十日ニ至リ第二學期ハ九月十一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第七條　休業日ハ左ノ如シ但シ休業中ト雖實習實驗ヲ課シ又ハ特別講

義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

日曜日

大祭祝日

夏期休業　（自七月二十一日 至九月十日）

學校記念日　（十一月二十六日）

冬期休業　（自十二月二十一日 至一月十六日）

## 第三章　學科目及其程度

第八條　各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ各學科目ノ毎週授業時數ハ修身ヲ除クノ外之ヲ增減スルコトアルヘシ

### 農學科

講義ノ部　（毎週教授時數）

| 學科目＼學年・學期 | 第一學年 第一學期 | 第一學年 第二學期 | 第二學年 第一學期 | 第二學年 第二學期 | 第三學年 第一學期 | 第三學年 第二學期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 修身 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 作物學及育種學 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 園藝學 | | | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 畜產學 | | | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 畜產製造學 | | | | | 2 | 2 |
| 養蠶學 | | 2 | 2 | 2 | | |
| 土壤學 | | 2 | | | | |
| 肥料學 | | | 2 | 2 | | |
| 農產製造學 | | | | | 3 | 3 |



| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 農具學 | 2 | 2 | | | | |
| 測量學及農業土木學 | 3 | 2 | | | | |
| 物理學及氣象學 | 3 | 2 | | | | |
| 化學及分析 | 3 | 2 | | 1 | | |
| 動物學及昆蟲學 | 3 | 3 | 2 | 2 | | |
| 植物學及植物病理學 | 3 | 3 | 2 | 2 | | |
| 實驗遺傳學 | | | 2 | | | |
| 鑛物學及地質學 | 2 | 2 | | | | |
| 經濟學 | | | 2 | 2 | | |
| 農業經營學 | | | 3 | 3 | | |
| 農業政策 | | | | | 2 | 2 |
| 植民政策及植民地產業論 | | | | | 2 | 2 |
| 法學大意及農業法規 | | | | | 2 | 2 |
| 英語 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| 體操 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 造園學 | | | | | (1) | (1) |
| 家畜榮養學 | | | | | (2) | |
| 植物榮養學 | | | | | | (2) |
| 應用菌學 | | | | | (2) | |
| 林學大意 | | | | | (2) | (2) |
| 獸醫學大意 | | | | | (2) | (2) |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育學 | | | | | (1) | (1) |
| 獨逸語 | | | | | (3) | (3) |
| 動物學特別講義 | | | | | (5) | (5) |
| 植物學特別講義 | | | | | (5) | (5) |
| 計 | 27 | 28 | 27 | 26 | 22 (23) | 22 (21) |

實習實驗ノ部　（每週教授時數）

| 學科目 ＼ 學年 學期 | 第一學年 第一學期 | 第一學年 第二學期 | 第二學年 第一學期 | 第二學年 第二學期 | 第三學年 第一學期 | 第三學年 第二學期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 農場實習 | 9 | 6 | 9 | 9 | 6 | 6 |
| 作物學及園藝學實驗 | | | 3 | 3 | | |
| 養蠶實習 | | | 無定時 | 無定時 | | |
| 畜產學實驗 | | | | | 3 | |
| 農產製造學實習 | | | | | 無定時 | 無定時 |
| 畜產製造學實習 | | | | | 無定時 | 無定時 |
| 化學實驗 | | | | 3 | | |
| 農學實驗及演習 | | | | | (3) | (3) |
| 動物學昆蟲學及養蠶學實驗 | | 3 | 3 | 3 | (3) | (3) |
| 植物學及植物病理學實驗 | 3 | 3 | 3 | | (3) | (3) |
| 測量學及農業土木學實習 | 3 | 3 | | | | |
| 特殊實驗又ハ農政經濟演習 | | | | | 6 | 6 |



講義ノ部　（每週教授時數）

| 學科目 ＼ 學年 學期 | 第一學年 第一學期 | 第一學年 第二學期 | 第二學年 第一學期 | 第二學年 第二學期 | 第三學年 第一學期 | 第三學年 第二學期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 修身 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 土壤學 | | 2 | 2 | | | |
| 肥料學 | | | 2 | 2 | 2 | |
| 農產製造學 | | | | | 3 | 3 |
| 畜產製造學 | | | | | 2 | 2 |
| 作物學 | | | 2 | 2 | 2 | |
| 園藝學 | | | 2 | 2 | | |
| 畜產學 | | | | 2 | | |
| 家畜榮養學 | | | | | 1 | 1 |
| 農業工學 | 2 | 2 | | | | |
| 數學 | 2 | 2 | | | | |
| 物理學及氣象學 | 3 | 3 | | | | |
| 機械學 | | | 2 | | | |
| 無機化學 | 4 | 2 | | | | |
| 有機化學 | 2 | 2 | 3 | | | |
| 分析化學 | | | 1 | 1 | | |
| 生物化學 | | | | 3 | 3 | |
| 食品化學 | | | | | | 3 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 物理化學 | | | 2 | 2 | | |
| 農業藥物學 | | | | | | 1 |
| 工業化學 | | | | | | 3 |
| 鑛物學及地質學 | 2 | 2 | | | | |
| 動物學 | 3 | 3 | | | | |
| 植物學 | 3 | 3 | | | | |
| 應用菌學 | | | | 2 | | |
| 醱酵生理學 | | | | | 1 | 1 |
| 經濟學 | | | 2 | 2 | | |
| 農業經營學 | | | 3 | 3 | | |
| 法學大意及農業法規 | | | | | 2 | 2 |
| 英語 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| 體操 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 養蠶學 | | | | | | (2) |
| 植物病理學 | | | | | (2) | (2) |
| 農業政策 | | | | | (2) | (2) |
| 植民政策及植民地產業論 | | | | | (2) | (2) |
| 教育學 | | | | | (1) | (1) |
| 獨逸語 | | | | | (3) | (3) |
| 農藝化學特別講義 | | | | | (1) | (1) |
| 計 | 27 | 27 | 27 | 27 | 21 (11) | 21 (13) |



實習實驗ノ部　（每週教授時數）

| 學科目 ＼ 學年 學期 | 第一學年 第一學期 | 第一學年 第二學期 | 第二學年 第一學期 | 第二學年 第二學期 | 第三學年 第一學期 | 第三學年 第二學期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 化學實驗 | | 3 | 12 | 12 | 14 | |
| 物理學實驗 | | 3 | | | | |
| 地質學及土壤學實驗 | | | 3 | | | |
| 應用菌學實驗 | | | | 3 | | |
| 動物學實驗 | 3 | | | | | |
| 植物學實驗 | | 3 | | | | |
| 農場實習 | 9 | 6 | | | | |
| 農產製造學實習 | | | | | 無定時 | 無定時 |
| 畜產製造學實習 | | | | | 無定時 | 無定時 |
| 農業工學實習 | 3 | | | | | |
| 特殊實驗 | | | | | | 17 |

備考　授業時數中括弧ヲ附スルモノハ選擇科目ノ時數ニシテ選擇科目ハ二科目以上ヲ選修セシム

農學科第三學年ニ於テ動物學特別講義又ハ植物學特別講義ヲ選修スルモノニハ動物學實驗又ハ植物學實驗ヲ課ス

農學科第三學年ニ於テ動物學特別講義又ハ植物學特別講義ヲ選修セサルモノニハ農學實驗及演習ヲ課ス

農學科各學年ニハ夏期休業中休業日數ノ約半數ニ亘ル農場實習ヲ課ス

農藝化學科第一學年ニハ夏期休業中休業日數ノ約半數ニ亘ル農場實習ヲ課ス

## 第四章　入學、在學、休學、退學

第九條　入學ノ期ハ每學年ノ始メトス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正志望堅固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定及身體檢査ニ合格シタル者タルヘシ

1. 中學校ヲ卒業シタル者
2. 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者
3. 實業學校ヲ卒業シタル者但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者
4. 前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

第十一條　前條第一號第三號及第四號ニ該當スル學校ノ在學者ニシテ當該學年三月末日迄ニ卒業スヘキ見込アル者ハ當該學校長ノ證明ヲ得テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

第十二條　入學檢定ハ志願者ノ入學前ニ於ケル學業成績ノ考査、試驗檢定、身體檢査及口頭試問ニ依リ之ヲ行フ但シ第十條第四號該當者ニ對シテハ當該檢定ノ成績ヲ以テ入學前ノ學業成績ト看做ス

第十三條　試驗檢定ハ英語、數學、物理、化學、動物、植物ノ中四學科目以內ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ但シ其ノ學科目ハ學生募集ノ都度之ヲ公示ス

第十四條　第十條第一號又ハ第三號ノ卒業者ニシテ在學中最終ノ二學年間ノ學業成績ノ順位全數ノ十分ノ一以內ニ在リテ卒業ノ翌年度ヲ



經過セサル者無試驗檢定ニ依リ入學ヲ出願スルトキハ體格檢査及口頭試問ヲ行ヒテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ學校在學者ニ在リテハ最終學年ノ第一學期及第二學期ノ平均學業成績ノ順位ヲ以テ最終學年ノ順位ト看做ス

第十五條　無試驗檢定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ三分ノ一以內トス

無試驗檢定出願者ニシテ入學ヲ許可セラレサル者ハ試驗檢定ヲ受クルコトヲ得但シ此ノ場合ニハ更ニ第十七條ノ書類及入學檢定料ヲ要セス

第十六條　入學檢定料ハ金五圓トス入學願票ト共ニ納付スヘシ入學檢定料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第十七條　入學志願者ハ本校交付ノ入學願票ニ所要事項ヲ記入シ當該學校長ノ卒業證明書（若ハ卒業見込證明書又ハ專門學校入學者試驗檢定合格證明書）、寫眞（入學出願前六箇月以內ニ撮影シタル脫帽半身手札形）ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ

第十八條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ十日以內ニ身元引受人ノ連署ヲ以テ左式ノ證書及戶籍謄本ヲ差出スヘシ

| 印紙 | ㊞ |
|---|---|

## 證　書

私儀今般御校ヘ入學許可相成候ニ付テハ御規則堅ク相守リ濫ニ退學等致間敷候仍テ身元引受人連署ヲ以テ證書差出候也

本　籍
住　所
族　籍　戶主又ハ誰何男弟等

年　月　日　　氏　　名　印

年　月　日　生

本　籍

住　所

族　籍　本人トノ關係

身元引受人　氏　　名　印

年　月　日　生

鳥取高等農業學校長　氏　　名　殿

第十九條　本校學生ハ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入リ又ハ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

第二十條　學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席シタル者ハ三日以內ニ其ノ旨届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺席五日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十一條　學生疾病又ハ事故ニ依リ二箇月以上修學スルコト能ハサルトキハ詮議ノ上該學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ疾病ノトキハ該願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十二條　休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ヨリ其ノ原級ニ復スルモノトス但シ休學期間ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ出願ニヨリ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十三條　學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セムト欲スルトキハ其ノ事由ヲ具シ願出ツヘシ但シ疾病ノトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第二十四條　學生左ノ各號ノ一ニ當ル者ハ學籍ヲ除名ス

1. 無届ニテ二箇月以上引續キ缺課シタル者
2. 學業不進歩ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者
3. 授業料ノ滯納二週日ニ亘ル者



第二十五條　學生校規命令ニ違背シ其ノ他學生タルノ本分ヲ失フ者ハ其ノ輕重ニ依リ戒飭停學又ハ放校ニ處スヘシ

## 第五章　特　待　生

第二十六條　學術優等品行方正ナル學生ヲ選拔シ特待生トナス

特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

第二十七條　特待生其ノ資格ヲ失フト認ムルトキハ直ニ之ヲ免ス

## 第六章　試驗、卒業、稱號

第二十八條　試驗ヲ分チテ臨時試驗及定期試驗ノ二種トス

第二十九條　臨時試驗ハ學年中教員ノ見込ヲ以テ臨時ニ之ヲ行ヒ定期試驗ハ學期ノ終ニ於テ之ヲ行フモノトス

第三十條　試驗ハ口述、筆記又ハ實驗ヲ以テ之ヲ行ヒ其ノ成績ヲ按シ之ニ評點ヲ附シ一科目一百點ヲ最高點トス

第三十一條　實習點ハ一學年間ノ成績ヲ按シ一百點ヲ以テ最高點トス

第三十二條　各學科目學年評點ハ各試驗評點ノ和ヲ其ノ試驗回數ヲ以テ除シタルモノトス

第三十三條　學年ノ成績ハ試驗ノ成績平素ノ成績及勤惰行狀等ヲ參酌シテ之ヲ定メ其ノ及落ヲ決ス

第三十四條　正當ノ事由アリテ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ詮議ノ上追試驗ヲ行フコトアルヘシ但シ平素ノ成績ノミヲ考査シテ之ヲ定ムルコトヲ得

第三十五條　第三學年ノ終ニ於テ卒業論文ヲ提出セシム

第三十六條　第三學年ノ試驗ニ及第シ卒業論文適當ナリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十七條　本校卒業生ハ農學得業士ト稱スルコトヲ得

## 第七章　服　　制

第三十八條　學生ハ本校制定ノ被服ヲ着用スヘシ但シ實習實驗ノ際特別ノ服裝ヲ要スル場合ハ前項ノ限ニ在ラス

## 第八章　研　究　生

第三十九條　本校卒業生ニシテ既修ノ學科目ニ就キ更ニ研究セムト欲スル者ニハ出願ニ依リ二箇年以内研究生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條　研究生ハ在學期ノ終ニ於テ研究報文ヲ作リ指導教員ヲ經テ之ヲ學校長ニ提出スヘシ

第四十一條　研究報文ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

## 第九章　選　科　生

第四十二條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇專修セムトスル者アルトキハ選科生トシテ在學セシムルコトアルヘシ

第四十三條　選科生ハ教授上差支ナキ場合ニ限リ資格詮衡ノ上入學ヲ許可スルモノトス

第四十四條　選科生ニシテ修學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

## 第十章　授　業　料

第四十五條　授業料ハ一學年金八拾圓トシ第一學期金參拾五圓第二學期金四拾五圓ニ分チ每學期ノ始メニ於テ之ヲ徵收ス

研究生ニハ之ヲ徵收セス

選科生ハ一學科目一學期金五圓トシ八學科目以上ノトキハ本科生ニ準シ每學期ノ始メニ於テ之ヲ徵收ス

第四十六條　本科學生ニシテ在學中學資ノ出途困難ナル事情ヲ生シタル者ハ詮議ノ上授業料ヲ減免スルコトアルヘシ但シ減免ヲ止メタル



場合ハ其ノ期ノ授業料ハ翌月ヨリ一月ニ付授業料年額十分ノ一ノ割合ヲ以テ其ノ際一時ニ之ヲ徵收ス

第四十七條　授業料ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第四十八條　停學ヲ命シ若ハ休學ヲ許可シタル者ハ次期ヨリ授業料ヲ徵收セス

第四十九條　休學又ハ停學ヲ解除シタルトキ若ハ特待生ヲ免セラレタルトキハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徵收ス

第五十條　授業料ハ定日ニ納付スヘシ其ノ定日以後ニ入學シタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納ムルモノトス

第五十一條　授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ルトキハ第二十四條ニ依り處分ス

## 附　則

第五十二條　第四十五條ハ昭和四年度入學者ヨリ之ヲ適用シ昭和三年以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

# 3. 事　務　規　程

## 第一章　總　則

第一條　校務ヲ處理スル爲メ本校ニ庶務課、會計課、敎務課、學生課農學科、農藝化學科、圖書館、實驗農場及標本室ヲ置ク

第二條　各部局ニ長ヲ置キ標本室ニ主事ヲ置ク

第三條　科長、圖書館長、實驗農場長、主事ハ敎員ヲ以テ之ニ充テ課長ハ書記又ハ敎員ヲ以テ之ニ充テ學生課長ハ生徒主事ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ

得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ各部局長ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第五條　各部局長ハ其ノ名ヲ以テ相互ニ文書ノ往復ヲナスコトヲ得

第六條　各部局長ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ノ勤怠ヲ監督シ意見アルトキハ學校長ニ具申スヘシ

第七條　各部局長ニ事故アリテ執務スルコト能ハサルトキハ所屬首席者其ノ事務ヲ代理ス但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第八條　所屬ノ職員ハ上官ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ處理シ取扱事項ニ關シ其ノ責ニ任ス

第九條　主管事務ニシテ他ノ部局ト關聯スルトキハ總テ合議スヘシ

第十條　事務ノ所屬不明ナルトキハ上官ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

## 第二章　分　　掌

第十一條　庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

1. 御眞影及勅語ニ關スル事項
2. 學校長ノ官印及學校印ノ監守ニ關スル事項
3. 公文書類ノ接受、發送、審議、立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
4. 記錄又ハ學校一覽編纂ニ關スル事項
5. 所得稅法第五十六條ノ調書提出ニ關スル事項
6. 統計報告ニ關スル事項
7. 儀式ニ關スル事項
8. 官吏及雇員等ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
9. 敍位及敍勳ニ關スル事項
10. 規則ノ制定及命令傳達ニ關スル事項
11. 法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項



12. 名簿、履歷書、出勤簿ニ關スル事項
13. 當直ニ關スル事項
14. 文書（學校長名ヲ署スルモノニ限ル）ノ淨書及印刷ニ關スル事項
15. 會議ニ關スル事項
16. 職員及學生ノ身分證明竝旅客運賃割引證交付ニ關スル事項
17. 庶務課ニ屬スル公文書類及物品ノ整理保管ニ關スル事項

第十二條　會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

1. 學校經濟ニ關スル事項
2. 經費及諸收入ノ豫算及決算ニ關スル事項
3. 金錢ノ收支及保管ニ關スル事項
4. 物品ノ購入及其ノ出納保管ニ關スル事項
5. 官有財產及資金ノ監理ニ關スル事項
6. 校舍ノ建築修繕ニ關スル事項
7. 本校內外ノ掃除及除雪等ニ關スル事項
8. 校舍校地ノ警備取締ニ關スル事項
9. 傭人ノ進退賞罰取締ニ關スル事項
10. 不用物品ノ處分ニ關スル事項
11. 電燈、電話、電鈴、水道、瓦斯ニ關スル事項
12. 會計課ニ屬スル公文書類ノ起草整理保管ニ關スル事項
13. 會計課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
14. 前各號ノ外會計ニ關スル一切ノ事項

第十三條　教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

1. 講堂、教室、學生控所、教具ノ設備保管ニ關スル事項
2. 授業及學課ニ關スル事項

3. 學生募集ニ關スル事項
4. 學生ノ入學、退學、休學及學籍ニ關スル事項
5. 試驗ニ關スル事項
6. 教授會議ニ關スル事項
7. 修學旅行ニ關スル事項
8. 學事統計及報告ニ關スル事項
9. 學術報告ニ關スル事項
10. 教務課ニ屬スル文書ノ起案及整理保管ニ關スル事項
11. 教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
12. 參觀人ニ關スル事項
13. 前各號ノ外教務ニ關スル一切ノ事項

第十四條　學生課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
1. 學生ノ訓育竝賞罰ニ關スル事項
2. 學生ノ風紀取締ニ關スル事項
3. 學生ノ衞生及體格檢査ニ關スル事項
4. 學生ノ兵役ニ關スル事項
5. 學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項
6. 寄宿學生ノ入退舍、外泊、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
7. 寄宿學生ノ寄留屆ニ關スル事項
8. 學生ノ願屆等ニ關スル事項
9. 寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項
10. 寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
11. 學生課ニ屬スル公文書類ノ起草、整理、保管ニ關スル事項
12. 學生課及寄宿舍ニ屬スル物品ノ整理及保管ニ關スル事項
13. 前各號ノ外學生ニ屬スル一切ノ事項



第十五條　農學科ニ於テ監掌スル事項左ノ如シ
1. 農學科ニ屬スル授業學科目ノ教授ニ關スルコト
2. 前號ノ學科目ニ伴フ建物試驗地物品ノ整理保管ニ關スルコト
3. 教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト
4. 教授分擔ニ關スルコト
5. 事業功程ニ關スルコト
6. 前各號ノ外農學科ニ關スルコト

第十六條　農藝化學科ニ於テ監掌スル事項左ノ如シ
1. 農藝化學科ニ屬スル授業學科目ノ教授ニ關スルコト
2. 前號ノ學科ニ伴フ建物試驗地物品ノ整理保管ニ關スルコト
3. 教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト
4. 教授分擔ニ關スルコト
5. 事業功程ニ關スルコト
6. 前各號ノ外農藝化學科ニ關スルコト

第十七條　修身ハ校長之ヲ監掌シ體操ハ生徒主事之ヲ監掌ス

第十八條　圖書館ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
1. 圖書ノ出納及保管ニ關スル事項
2. 圖書ノ貸付ニ關スル事項
3. 閱覽室ノ整理ニ關スル事項
4. 圖書館ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

第十九條　實驗農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
1. 農場ノ管理ニ關スル事項
2. 農事實驗實習ニ關スル事項
3. 家畜飼養管理ニ關スル事項
4. 農產製造及畜產製造實習ニ關スル事項

5. 養蠶實習ニ關スル事項
6. 生產物處分ニ關スル事項
7. 所屬建物、物品ノ管理保管ニ關スル事項

第二十條　標本室ニ於テハ標本室ニ於ケル標本ニ關スル一切ノ事項ヲ掌ル

## 第三章　會　　議

第二十一條　本校ニ教授會議及部局會議ヲ設ク

第二十二條　教授會議ハ校務上必要ナル事項ニ關シ學校長ノ諮問ニ應シ之ヲ審議ス

第二十三條　教授會議ノ議員ハ教授ヲ以テ之ニ充ツ但シ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ他ノ職員ヲ列席セシムルコトアルヘシ

第二十四條　學校長ハ教授會議ヲ召集シ其ノ議長トナル

第二十五條　教授會議員ハ校務ニ關シ會議ニ附セムトスル事項アルトキハ學校長ニ提議スルコトヲ得

第二十六條　教授會議ノ記錄ハ教務課長之ヲ掌ル

第二十七條　部局會議ハ各部局ニ於テ監掌スル事項ニ關シ審議スルモノトス

第二十八條　部局會議ハ左ノ八ニ分ツ但シ關聯スル事項ニ付他ノ部局ト審議ヲ要スルトキハ聯合會ヲ開クコトアルヘシ

1. 農　學　科
2. 農藝化學科
3. 庶　務　課
4. 會　計　課
5. 教　務　課
6. 學　生　課



7. 圖　書　館
8. 實驗農場

第二十九條　部局會議ノ議員ハ其ノ所屬職員(副手ヲ除ク)ヲ以テ之ニ充ツ

第三十條　部局長ハ其ノ部局會議ヲ召集シ其ノ議長トナル聯合會議ニ於テハ上席部局長ヲ以テ議長トス

第三十一條　部局會議員ハ其ノ分掌事項ニ關シ本會ノ議ニ附セムトスル意見アルトキハ之ヲ部局長ニ提議スルコトヲ得

第三十二條　部局會議ヲ開カムトスルトキハ部局長ヨリ豫メ其ノ時日ヲ學校長ニ報告シ且必要ニ應シ臨席ヲ申請スヘシ

第三十三條　學校長ハ部局會議ニ於テ意見ヲ陳述シ又ハ必要ニヨリ諮問案ヲ發スルコトアルヘシ

第三十四條　部局會議ニ於テ決議セル事項ハ之ヲ學校長ニ報告スヘシ

第三十五條　部局會議ニ於ケル議案ノ整理及決議ノ記錄ハ部局長之ヲ掌ル

## 4. 文書處理規程

第一條　本校ニ到達シタル文書ハ親展書類ヲ除ク外ハ庶務課ニ於テ收受開封シ件名簿ニ登錄ノ上本書ニ受付番號及年月日ヲ記入シ各其ノ主務部局長ニ配付シ主任者ノ受領檢印ヲ受クヘシ但シ事ノ輕易ニシテ回答ヲ要セサルモノハ別ニ配付簿ニ登載シテ主務部局ニ配付シ主任者ノ受領印ヲ受クヘシ

第二條　學校長宛親展書ハ收受簿ニ登記シ之ヲ提出スヘシ

第三條　收受シタル文書ハ速ニ主務部局ニ於テ審議調査ヲ了シ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ乞フヘシ但シ事ノ簡易ニシテ先例アルモノハ

主務部局ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第四條　決裁濟ノ文書ニシテ校長名ヲ以テ發スルモノハ總テ庶務課ニ於テ淨書シ校名ヲ以テ發スル文書ハ主務部局ニ於テ之ヲ淨書シ庶務課ニ差出スヘシ但シ學校長ノ名ヲ以テ發スル文書ト雖其ノ性質ナルモノハ主務部局ニ於テ淨書スルヲ要ス

第五條　金員、數量等總テ計算ヲ要スル書類ハ主務部局ニ於テ淨書シ再檢査ノ上欄外末尾ニ檢査濟ノ證印ヲ捺スヘシ

第六條　同一事件ノ往復文書ハ必ス之ヲ合綴スヘシ

第七條　起案ハ一定ノ用紙ヲ用ヒ起首ニ件名竝其ノ要旨ヲ摘記スヘシ

第八條　閱覽ニ止ムヘキ文書ハ其ノ餘白ニ提供スヘキ各官名ヲ記シ回覽ニ付スヘシ

第九條　處分ヲ要スル文書ト雖事ノ簡單ナルモノハ餘白ニ處分案ヲ具シ提出スルコトヲ得

第十條　成規定例アルモノハ便宜帳簿ヲ製シ回議案ニ代用スルコトヲ得

第十一條　各主務部局ニ於テ淨書シタル文書ヲ庶務課ニテ受領シタルトキハ直ニ番號ヲ付シ捺印ノ上發送ノ手續ヲナスヘシ

第十二條　發送濟ノ文書ハ其ノ發送ノ月日ヲ起案用紙相當欄ニ記入シ且捺印スヘシ

第十三條　文書ハ總テ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ關係員外ニ示スコトヲ得ス

第十四條　收受發送ノ文書ニハ左ノ例ニ依リ符號及番號ヲ付スヘシ受付ハ每年一月ニ始マリ十二月ニ終ルモノトス

第十五條　人事ニ關スル完結書類ニハ欄外ニ左ノ整理印ヲ押捺シ關係書類其ノ他ノ整理ニ遺漏ナキ事ヲ期スヘシ



| 整理 | 月日 | 發令 |
|---|---|---|
| 履歷書 | 職員名簿 | 通知 |
| 職員出勤簿 | 掲示 | |
| 職員札掛 | | |

昭和　年　月　日受付
鳥農第　號

鳥農庶發第　號

鳥農會發第　號

## 5. 職員服務心得

第一條　職員登校スルトキハ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ上官ノ命ニ依リ休暇日ニ出勤スルトキモ亦同シ但シ高等官及年手當ヲ受クル囑託講師ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二條　職員病氣其ノ他ノ事故ニヨリ缺勤セムトスルトキハ出勤時限前ニ其ノ旨届出ツヘシ但シ病氣缺勤七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第三條　勤務時間中ニ退出セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ口頭又ハ書面ヲ以テ願出ツヘシ

第四條　忌服ヲ受クルトキハ死者ノ氏名竝自己トノ續柄ヲ記シタル忌服届ヲ差出スヘシ

第五條　職員新任ノ際ハ履歷書及住所届ヲ庶務課、印鑑届ヲ會計課ニ各本校所定ノ用紙又ハ帳簿ニ記入シ差出スヘシ但シ住所、氏名、印章ヲ變更シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第六條　着任又ハ新ニ任用スル爲召喚セラレタル者ハ直ニ到着ノ年月日ヲ學校長ニ届出ツヘシ家族ノ到着モ亦同シ

第七條　職員公務ノ爲出張ヲ命セラレ旅行セムトスルトキハ發着ノ都

度庶務課備付ノ發着届簿ヲ以テ出發歸着ノ月日ヲ學校長ニ届出ツヘシ但シ旅費ノ支給ヲ受クル者ニアリテハ更ニ所定ノ旅行日記ヲ會計課ヘ差出スヘシ

第八條　職員病氣其ノ他ノ事項ニヨリ居住地ヲ離レムトスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ但シ賜暇中ハ旅行日數及場所ヲ記シ届出ツヘシ

第九條　職員官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシテ直ニ辭令ヲ受ケタルトキハ其ノ事項ノ履歷上ニ關係アルモノハ其ノ都度届出ツヘシ

第十條　職員登校ノ時ハ洋服ヲ着用スヘシ但シ病氣其ノ他特別ノ事情アル者ハ羽織袴ヲ着用スルコトヲ得

第十一條　校達其ノ他ノ通知ハ特ニ文書ヲ以テ回達スルコトアルヘシト雖通例本校掲示場竝食堂（教員ニ限ル）ノ掲示ニ就キ了知スヘシ

## 6. 當　直　規　程

第一條　本校當直ハ書記（課長ヲ除ク）及雇員毎日一名宛輪番ヲ以テ勤務スヘシ但シ雇員ハ特ニ指名セラレタルモノニ限ル

第二條　當直勤務ハ宿直ト日直ノ二種トシ各別ニ輪番ヲ以テ左ノ區分ニヨリ勤務スヘシ

宿　　直　（當日退廳時限ヨリ翌日出勤時限マテ）

日　　直　（一般休暇日當時ノ出勤時限ヨリ退廳時限マテ）

第三條　當直ハ其ノ前日迄ニ庶務課ヨリ本人ヘ通知シ認印ヲ徴スヘシ當直員自己ノ都合ニヨリ當直シ能ハサルトキハ代人ヲ立ツヘシ

第四條　左ノ諸項ノ一ニ當ルモノハ當直ヲ免ス

1. 出張ノ前日及歸校ノ翌日
2. 父母ノ看病及祭典等ニ依リ賜暇中ノモノ



3. 缺勤中ノモノ

第五條　新任ノ者ハ到着ノ日ヨリ七日ヲ經テ當直セシム

第六條　當直室ニハ當直中左ノ帳簿器具等ヲ備ヘ置クヘシ

1. 御眞影奉護用鍵箱
2. 當直員名簿
3. 當直日誌
4. 文書收受簿
5. 文書交付簿
6. 職員住所錄
7. 郵便切手及郵便切手受拂簿
8. 暗號電信符號
9. 狀箱及公文書入

第七條　當直員ハ退廳時限前ニ庶務課ニ就キ前條ニ示ス諸帳簿器具及郵便切手等ヲ受取リ翌日庶務課又ハ次直者ニ之ヲ引繼クヘシ

第八條　退廳時限ヨリ引繼時限マテニ到着シタル至急文書及至急發送スヘキ文書ハ當直員ニ於テ假リニ收受發送ノ手續ヲナシ翌日庶務課ニ引繼クヘシ

第九條　收受シタル公文書中急ヲ要スルモノニシテ學校長宛ノモノハ直ニ學校長ニ送付シ認印ヲ受ケ學校宛ノモノハ當直員ニ於テ開緘ノ上臨機ノ處置ヲナシ翌日庶務課ニ報告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ學校長不在ノ時ハ庶務課長ニ送付シ認印ヲ受クヘシ

他ノ職員ニ宛テタル至急公文書ハ受信者ニ送付スヘシ

第十條　當直員ハ常ニ火元其ノ他一般ノ取締ニ任シ夜間ハ午後八時ヨリ一回以上小使一名ヲ伴ヒ校舍內各室ヲ巡視シ異狀ノ有無ヲ當直日

誌ニ記載スヘシ

第十一條　當直日誌ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

1. 月日（七曜、祝祭日等）
2. 天　　氣
3. 當直員（捺印ノミニテモ差支ナシ）守衛、小使名
4. 參觀者職氏名
5. 當直中出入ノ職員氏名竝退出時間
6. 警備ニ關スルコト
7. 守衛ノ報告
8. 處務ノ概要

第十二條　雨風地震ノ際雨漏其ノ他ノ被害ノ虞レアリト認メタルトキハ臨機ノ處置ヲナスヘシ

## 7. 物品會計細則

第一條　本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本細則ニ據リ處理スヘシ

第二條　物品ノ種別ハ左ノ項目ニ從ヒ之ヲ區分スヘシ

- 物品
  - 備品
    - 通常備品器具
      - 共用
      - 專用
    - 學術用備品
      - 器具
      - 機械
      - 標本
    - 動物
  - 消耗品
    - 特別扱消耗品
    - 通常消耗品
      - 藥品、材料及雜品
    - 實驗用消耗品
      - 動物飼養料、肥料
      - 種苗



第三條　備品ニハ別ニ定ムル所ニ從ヒ類別、符合、番號及校名ヲ附シ各部局ヘ支給スル場合ハ更ニ物品監守區域名ヲ附シ之ヲ配付スヘシ但シ貴重品ニシテ製作番號アルモノハ關係書類ニ其ノ番號ヲ併記スヘシ

第四條　本校各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ品目、數量、事由、部局名ヲ記載セル請求書ヲ會計課ヘ差出スヘシ

第五條　會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ價格ヲ記シ學校長ノ許可ヲ受ケテ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ豫定價格ヲ具シ學校長ノ許可ヲ受ケテ購買ノ手續ヲナスヘシ

第六條　通常消耗品ハ會計課ニ於テ一ケ年ノ所要高ヲ豫定シ學校長ノ許可ヲ經テ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シテ支給ノ手續ヲナスヘシ

第七條　生產物又ハ寄贈ニ係ル物品ハ會計課ニ於テ其ノ品名數量及價格若ハ評價ヲ付シ藏置若ハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第八條　本校各部局ニ備品又ハ特別扱消耗品ニ付テハ物品監守者其ノ他ノ消耗品ニ付テハ物品取扱主任ヲ置ク其ノ所屬區域及物品ノ種目ハ別ニ之ヲ定ム

第九條　職員執務用ノ椅子、卓子、被服類ハ之ヲ專用備品トシ專用者各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十條　會計課ハ職員ノ新任轉免ヲ取調ヘ其ノ都度之カ支給返付ノ事ニ當ルヘシ

第十一條　物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ配付ヲ受ケタルトキハ直ニ之カ監守カードノ作製又ハ記帳ヲ爲シ現品ト對照ノ上所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ押捺シ遲滯ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ但シ物品

監守者ハ監守カード其ノ他ノ帳簿ニ物品備付ノ場所ヲ摘記シ其ノ所在ヲ明カニスヘシ消耗品ニアリテハ其ノ受拂殘高ヲ明確ニスヘシ

第十二條　物品監守者更迭シタルトキハ新舊監守者及會計課員立會ノ上現品ト關係書類トヲ照合ノ上引繼ヲ了スヘシ

引繼ヲ了シタルトキハ其ノ旨書面ヲ以テ物品會計官吏ノ手ヲ經テ學校長ニ屆出ツヘシ

第十三條　甲乙監守者間ニ於テ物品ノ監守換ノ必要生シタルトキハ其ノ旨會計課ニ通知シ制規ノ手續ヲ經テ現品ノ受授ヲナスヘシ

第十四條　物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理ヲ要スルモノアルトキハ所定ノ請求書ニ監守カードヲ添ヘ會計課ヘ差出スヘシ

第十五條　會計課ニ於テハ前條物品ノ修理ヲ了シタルトキハ監守カードニ修理ノ年月日及價格ヲ記入シ現品ト共ニ直ニ物品監守者ニ引渡スヘシ

第十六條　物品監守者監守中ノ物品ニシテ不用トナリタルモノアルトキハ物品返付簿ニ記載調印ノ上現品竝監守カードヲ添ヘ會計課ニ返付シ物品會計官吏ノ受領證ヲ徵シ置クヘシ

第十七條　物品監守者監守物品ノ票札ヲ汚損シ又ハ紛失シタルモノアルトキハ直ニ會計課ニ通告シ更ニ票札ノ貼付ヲ受クヘシ

第十八條　物品監守者監守中ノ物品ヲ紛失シタルトキハ其ノ品名數量番號等ヲ取調ヘ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作リ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第十九條　使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

1. 備品ハ毎年一回物品出納簿ト各部局監守カードト照シ更ニ監守



カードト現品ト照査スルコト

2. 消耗品ハ毎年一回物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ對照シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照査スルコト

3. 前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ申報シ其ノ處決ヲ求ムヘシ

第二十條　不用ニ歸シタル物品又ハ毀損拂ノ物品ニシテ將來使用ノ目途ナシト認メタルモノ若ハ修理使用ノ見込ナキモノハ其ノ處分案ヲ付シ學校長ノ決裁ヲ乞フヘシ

第二十一條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿及カードヲ備付クヘシ

1. 備品原簿

本簿ハ第二條ノ物品種別ニ從ヒ各冊ニ別チ備品類別順ニ區別シテ口座ヲ設ケ番號順ニ毎品購入年月日、價格、納人、供用又ハ在庫ノ別、支給及返付年月日ヲ登記シテ備品各個ノ沿革ヲ明カニシ兼テ物品所在ノ索引タラシム

2. 備品出納簿

本簿ノ區分ハ前項備品原簿ニ準スル外更ニ品目毎ニ細別シテ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、番號、月日、納人等ヲ登記シ供用在庫ノ現數竝物品監守者ト物品會計官吏トノ受授ヲ明カニス

3. 備品「カード」

本票ハ備品一點毎ニ一票ヲ設ケ品目、構造、價格、符合、番號月日、納人竝貴重品ニアリテハ製作番號等ヲ記載シ命令ニ基キ備品ヲ監守者ニ支給スルトキハ本票ニ監守者ヲシテ受領年月日ヲ記入捺印セシメ之ヲ各監守者毎ニ區分整理シテ物品監守者ノ責任ヲ明カナラシメ兼テ物品保管ノ現況ヲ明カニス

4. 消耗品出納簿

本簿ハ通常消耗品トシテハ（帳簿、印刷物類、諸用紙、筆墨、印肉類、薪炭油類、雜用品）實驗用消耗品トシテハ（藥品、實驗材料及雜品、動物飼養料、肥料、種苗）特別扱消耗品トシテハ（雜品）＝區分シ更＝品目毎＝細別口座ヲ設ケ品名、數量、價格、月日、納人等ヲ登記シ又在庫竝消費高ヲ明カニス

第二十二條　會計課＝左ノ帳簿ヲ備ヘ返付物品＝付物品監守者ト物品會計官吏トノ受授竝當該物品ノ處分ヲ明カニス

1. 備品返付簿

第二十三條　各部局物品監守者又ハ物品取扱主任＝於テハ物品ノ出納監守及取扱ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿及「カード」ヲ備付クヘシ

イ、備品監守者

1. 備品監守「カード」

本票ハ備品カードノ副票トナスモノニシテ監守者自ラ監守物品ノ現況ヲ知ルト共＝現品トノ照査ヲ便ナラシムヘシ

2. 特別扱消耗品受拂簿

本簿ハ消耗品中各所＝備付ノ用ヲナス獨立ノ物品ヲ各品目毎＝細別口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ明記スヘシ但シ自然破損其ノ他＝ヨリ拂出控除ヲ爲シタルトキハ其ノ都度物品會計官吏ノ認印ヲ求ムヘシ

ロ、物品取扱主任

1. 消耗品受拂簿

本簿＝ハ消耗品出納簿ノ順序＝基キ品目毎＝口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ明記スヘシ

2. 郵便切手類受拂簿



本簿ハ文書發送取扱者＝於テ備付ケ其ノ受拂ヲ詳細＝記入スヘシ

第二十四條　專用物品監守者ハ專用物品支給ノ場合ハ監守カードヲ以テ物品專用者トノ責任ヲ明カニシ置クヘシ

第二十五條　本校＝物品檢閱委員ヲ置キ定期臨時ノ二種＝別チ毎年一回以上實地＝就キ左ノ各項ヲ檢査セシム但シ定期檢閱ハ七月トシ臨時檢閱ハ臨時必要アリト認メタル場合＝於テ之ヲ執行ス

1. 物品保管ノ適否
2. 備品使用ノ適否
3. 消耗品消費ノ適否
4. 物品缺損ノ有無
5. 帳簿ト現品トノ對照

第二十六條　物品檢閱委員ハ委員長一名委員若干名トシ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第二十七條　物品檢閱ハ在庫品＝アリテハ物品會計官吏使用中ノ物品＝アリテハ物品監守者消耗品＝アリテハ物品取扱主任＝就キ之ヲ行フヘシ

第二十八條　前條ノ檢閱ヲ受クル者ハ實地＝ツキ檢閱委員ノ質問＝對シ答辯スヘシ

第二十九條　物品檢閱委員＝於テ檢閱上故障ナシト認定シタルトキハ檢了證ヲ交付スヘシ

第三十條　物品檢閱上物品＝缺損アリタルトキハ檢閱委員＝於テ當該責任者ヨリ補塡ノ方法及期限ヲ明記シタル始末書ヲ徵スヘシ

第三十一條　物品檢閱委員其ノ檢閱ヲ終リタルトキハ檢閱ノ顚末＝意見ヲ具シ關係書類ヲ添ヘ十五日以內＝委員長ヲ經テ學校長＝申報ス

ヘシ

第三十二條　本細則ニ據ル諸帳簿竝諸用紙ハ別紙樣式ニ據リ調製スヘシ

第三十三條　圖書ノ取扱ヒニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

本細則ハ大正十年七月十一日ヨリ之ヲ施行ス

別　表

| 備品分類別及符合表 | | | |
|---|---|---|---|
| あ | 卓子、机、實驗臺類 | い | 椅子、腰掛類 |
| う | 戸棚及棚、簞笥類 | ゐ | 衝立及物掛類 |
| お | 御眞影裝置及國旗類 | か | 黑板、揭示板、製圖板及其ノ他板類 |
| き | 度量衡器 | く | 印刷用器及文具類 |
| け | 印章、版木 | こ | 醫療器具 |
| さ | 時計、寒暖計類 | し | バケツ、桶、湯沸、洗面器類 |
| す | 寢具類 | せ | 被服、風呂敷、卓子掛類 |
| そ | 厨具類 | た | 煖爐、火鉢、煙草盆 |
| ち | 臺類 | つ | 箱類 |
| て | 瓦斯、電氣器具、磁器類 | と | 双物及小道具類 |
| な | 容器類 | に | 掃除用具 |
| ぬ | 體操用具 | ね | 警備用具 |
| の | ○農工具 | は | ○測量及製圖用具 |
| ひ | ○採集用具 | ふ | ○養蟲養植器具 |
| へ | ○殺菌及消毒器 | ほ | ○玻璃器 |
| ま | 寫眞用器具 | み | ○實驗燈火裝置及加熱器具 |
| む | ○レンズ類 | め | 動物 |
| も | 動物飼育器 | や | |
| ゆ | 車輪類 | よ | 雜品 |
| ら | 浸漬標本 | り | 剝製標本 |
| る | 實物標本 | れ | 製作模型 |
| ろ | 順序標本 | わ | 圖解標本 |

1. 本表中○印ヲ附シタルモノハ專ラ學術用器具トシ其ノ他ノ分類ニ屬スルモノニシテ學術用ニ供スルモノハ「か」ノ冠符ヲ付スヘシ
2. 學術用機械ニハ本表ニ據ラス別ニ「き」ノ冠符ト品名ノ冠字ヲ付スヘシ



## 8. 學校醫職務規程

第一條　學校醫ノ職務ハ左ノ如シ

1. 學校衛生ニ關シ意見ヲ陳ホシ學校長ノ諮問ニ應スルコト
2. 學生及入學志願者ノ身體檢查ニ關スルコト
3. 學生ノ疾病治療ニ關スルコト
4. 學生ノ學校ニ差出スヘキ診斷書作成ニ關スルコト

第二條　學校醫ハ文部省令ノ規程ニ依リテ登校シ衛生ニ關スル視察ヲ遂ケ意見ヲ學校長又ハ生徒主事ニ具申スヘシ

第三條　學校醫ハ臨時ニ起リタル衛生上ノ事件又ハ學生ノ急病ニ關シ學校長又ハ生徒主事ノ要求アリタルトキハ直ニ登校シ相當ノ處置ヲ取ルヘシ

第四條　學校醫登校シタルトキハ視察ノ要項及學生疾病ノ概況ヲ日誌ニ記入スヘシ

第五條　學校醫ハ學生ノ體育ニ注意シ衛生統計ヲ作リ學校長ニ報告スヘシ

## 9. 學 生 心 得

第一條　本校學生ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ヲ奉體シ心身ノ修養ヲ怠ラス以テ立身報國ノ基ヲ建ツヘシ

第二條　本校ノ規則命令ヲ遵守シ師長ノ指揮訓誡ニ恭順スヘシ

第三條　本校職員ニ對シテハ勿論學生相互ノ間ニ於テモ敬禮ヲ行フヘシ

第四條　風紀ヲ紊ス處アル場所ニ出入スヘカラス

第五條　告示ハ之ヲ掲示シタル日ヨリ一般ニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ能ク注意スヘシ

第六條　校舍內ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ高聲疾走等喧噪ノ行爲アルヘカラス

第七條　校內ニ在リテハ所定ノ場所ノ外飲食喫煙又ハ吐唾スヘカラス

第八條　授業時間ニハ遲滯ナク所定ノ場所ニ到リ其ノ席ニ着クヘシ

第九條　授業時間中ハ受持教員ノ許可ヲ得スシテ教室、實驗室等ニ出入スヘカラス

第十條　受持教員授業時間ニ至ルモ出勤セサルトキハ教務課ニ就キ其ノ指揮ヲ受ケ決シテ隨意退散スヘカラス

第十一條　授業時間外ニ於テハ教員ノ許可ナクシテ教室、實驗室等ニ出入スヘカラス

第十二條　本校所屬ノ建物、物品、樹木等ヲ汚染亡失毀損スヘカラス但シ情狀ニヨリテハ之ヲ辨償セシム

第十三條　諸願届書類ハ總テ學校長ニ宛テ學生課ニ差出スヘシ

第十四條　集會又ハ揭示ヲナサムトスルトキハ必ス學生課ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

第十五條　學生及身元引受人ノ本籍、住所、族籍、氏名等ニ異動ヲ生



シタルトキ又ハ學生ノ轉宿歸省旅行其ノ他ノ異動等ハ直ニ届出ツヘシ

第十六條　自宅通學又ハ特別ノ事情アルモノノ外寄宿舍ニ入ルヲ要ス

第十七條　外出ノ際ハ制服若ハ和服ニ袴ヲ着用スヘシ但シ帽子ハ本校所定ノモノニ限ル

## 10. 總 代 規 程

第一條　各級ニ總代及副總代各一人ヲ置ク

第二條　總代ハ其ノ級ヲ代表シ命令傳達等ヲ司リ級ノ統一秩序ヲ計リ風紀取締ニ注意スヘシ

第三條　副總代ハ總代ヲ補佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス

第四條　總代及副總代ハ各級學生ノ互選セル數名ノ候補者中ニ就キ學校長之ヲ任命ス

第五條　總代及副總代ノ任期ヲ一學期間トス

## 11. 學 生 制 服 規 程

第一條　學生ノ制服ハ左ノ如シ

帽　子

| | |
|---|---|
| 地　質 | 黑　絨 |
| 前　章 | 金色如圖 |
| 眼　庇 | 黑　革 |
| 頤　紐 | 黑　革（幅四分） |
| 釦 | 金色如圖 |
| 制　式 | 如　圖 |

衣

| | |
|---|---|
| 地　質 | 黑　絨　但シ夏ハ紺セル |

釦　　金色如圖

襟　裏　　左襟＝農學科ハA農藝化學科ハC

制　式　　如　圖

袴

地　質　　衣＝同シ

制　式　　如　圖

第二條　制服ヲ着用スヘキ場合左ノ如シ

1. 本校ニ出入スルトキ但シ寄宿舍生ノ舍內ニアルトキハ此ノ限ニ在ラス
2. 本校學生タルコトヲ表示スルトキ
3. 其ノ他本校ヨリ特ニ指定セラレタルトキ

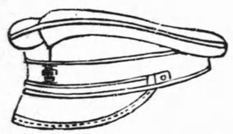
第三條　實驗實習等ニ從事スルトキハ所定ノ作業服ヲ着用セシムルコトアルヘシ

第四條　制服ノ着用期限ハ左ノ如シ

夏服　自五月二十一日 至九月三十日　　冬服　自十月一日 至五月二十日

第五條　夏期ハ麥藁帽子（如圖）ヲ着用スルコトヲ得

第六條　疾病其ノ他ノ事故ニ依リ制服ヲ着用シ難キトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ



帽子

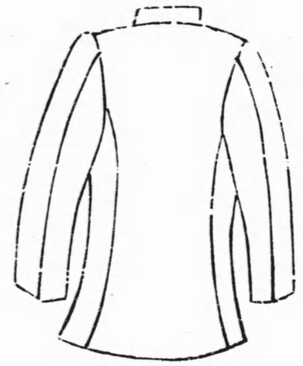
略帽

前章

釦

衣前面

袴



背面

## 12. 寄宿舍規則

第一條　寄宿舍ハ本校學生ヲ入舍セシムル所トス

第二條　舍生ハ濫ニ退舍スルコトヲ許サス但シ已ムヲ得ス退舍セムト欲スル者ハ願書ニ事由ヲ記シ尙疾病ニヨル者ハ學校醫ノ診斷書ヲ添

ヘテ差出スヘシ

第三條　在舍生ハ寮務員六名ヲ選出シ更ニ其ノ內ヨリ寮長及副寮長各一名ヲ互選シ詮衡ノ上校長之ヲ命ス

第四條　寮長ハ生徒主事及學生課員ノ指揮ヲ承ケ舍內一般ノ風紀取締及自治的事務ノ責ニ任シ兼テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

第五條　副寮長ハ寮長ヲ補佐シ寮長事故アルトキハ其ノ任務ヲ代理ス

第六條　寮務員ハ協力シテ寄宿生活ノ向上ヲ圖リ寮務ヲ分擔ス

第七條　舍生ハ左ノ諸件ヲ遵守スヘシ

1. 靜肅ヲ守リ他人ノ勉學及安眠等ヲ妨害スル所行ヲ爲ササルコト
2. 舍內ニ於テハ上草履若ハ上靴ヲ用フルコト
3. 火氣ノ取扱ニ注意シ危險ノ所行ヲナササルコト
4. 常ニ清潔法規定ヲ守リ室內外ノ清潔整頓ニ務ムルコト
5. 室內備付ノ器具ハ濫ニ所定ノ位置ヲ變ヘ又ハ模樣更ヘヲナササルコト
6. 修業上必要ノ物品ノ外ハ生徒主事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帶スルコトヲ得ス

第八條　起床、就褥、喫飯、人員點檢及自修始終ノ時間等ハ振鈴又ハ擊柝ヲ以テ報ス

第九條　人員點檢ハ臨時ニ之ヲ行フ舍生ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十條　舍內ニ談話室、圖書室及會議室ヲ設ケ別ニ定ムル所ノ規程ニヨリ之ヲ使用セシム

第十一條　食堂ニハ定時ノ外濫ニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スル者ハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條　入浴時間ハ別ニ之ヲ定ムルヲ以テ其ノ時間內ニ於テ之ヲ爲



スヘシ若シ定時間外入浴ヲ要スルモノハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條　疾病ニ罹リタル者アル時又ハ金錢物品ヲ紛失シタル時ハ速ニ學生課ニ届出ツヘシ

第十四條　外來人ニ面會スルトキハ必ス應接所又ハ談話室ニ於テスヘシ但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條　舍內ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタル時ハ之ヲ辨償セシム若シ毀損亡失者判明セサル時ハ舍內又ハ室內ノ一同ヲシテ辨償セシムルコトアルヘシ

第十六條　日課時限ハ左ノ如シ

| | 自四月一日 至九月三十日 | 自十月一日 至三月三十一日 |
|---|---|---|
| 起床 | 午前五時半 | 午前六時半 |
| 朝食 | 午前六時 | 午前七時 |
| 晝食 | 正午 | 午後零時半 但シ十月中ハ正午 |
| 夕食 | 午後五時半 | 午後五時半 |
| 自修時間 | 自午後八時 至同十時 | 自午後七時 至同十時 |
| 外出時限 | 午後十時 | 午後九時 休日前日同十時 |
| 消燈 | 午後十時 | 午後十時半 |
| 休日ノ前晩ハ自修時間ヲ設ケス | | |

第十七條　定時限外外出者ハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第十八條　旅行若ハ外泊セムトスル時ハ其ノ事由、日數及行先ヲ記載シテ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第十九條　外出中已ムヲ得サル事情アリテ定刻限ニ遲レ又ハ外泊セル者ハ歸寮ノ際其ノ事由ヲ詳記シテ届出ツヘシ但シ外泊ノ時ハ宿泊先

ノ證明書ヲ要ス

第二十條　食費及諸雜費ハ前月末日限リ炊事會計委員ニ支拂フヘシ但シ中途入舍シタル者ハ其ノ際支拂フヘシ

第二十一條　疾病ニ罹リタルモノハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療ヲ受ケシム但シ輕症ノモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　重病、傳染病若ハ全治ニ日數ヲ要スルモノハ最寄病院ニ入ラシムルコトアルヘシ

## 13. 寄宿料徵收規程

第一條　本校寄宿舍ヘ入舍スルモノハ寄宿料ヲ納付スヘシ但シ特待生及實業學校教員養成規程ニ依ル學資補給生ニハ之ヲ免除ス

第二條　寄宿料ハ月額金貳圓トシ每月授業開始ノ日ヨリ七日以內ニ於テ指定ノ日ニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第三條　八月分ノ寄宿料ハ之ヲ徵收セス

第四條　月ノ十六日以降ニ入舍シタル者ハ其ノ月ノ寄宿料ハ金壹圓トシ入舍ノ日ヨリ五日以內ニ納付スヘシ

第五條　月ノ十五日以內ニ退舍スル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル時ハ其ノ月ノ寄宿料ヲ金壹圓トシ第二條ノ期限內ニ納付スヘシ

第六條　前條ノ規定ニ依リ寄宿料ヲ納付シタル者十五日以內ニ寄宿舍ヲ退出スルニ至ラサリシ時ハ直ニ其ノ不足額金壹圓ヲ追納スヘシ

第七條　一旦納付シタル寄宿料ハ如何ナル理由ニ依ルモ返付セス

第八條　寄宿料ヲ期限內ニ納付セサル時ハ本人ニ催告シ仍納付ヲ怠ル時ハ本校規則第二十四條ニ準シテ處分スルコトアルヘシ

第九條　前條ノ催告ハ寄宿舍內ノ一定ノ場所ニ二日以上揭示スルヲ以テ之ヲ爲シタルモノト見做ス



## 14. 通學生取締規則

第一條　通學生ハ生徒主事ノ認可ヲ得タル宿所ニ寄宿スルモノトス

第二條　通學生ハ二人以上同宿スヘシ但シ自宅又ハ生徒主事ノ適當ト認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　既定ノ宿所不適當ナリト認メタルトキハ直ニ轉宿セシムヘシ

第四條　通學生ハ本校規定ノ標札ヲ其ノ宿所ニ揭ケ置クヘシ但シ本校ノ學籍ヲ脫シタルトキ又ハ休學停學中ノ者ニシテ學校所在地ヲ去ラムトスルトキハ速ニ標札ヲ學生課ニ返付スヘシ

第五條　宿所ハ學生課員隨時點檢スヘシ

## 15. 圖書館規則

### 第一章　總　則

第一條　本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ閱覽若ハ貸付ニ供ス

第二條　圖書ヲ分チテ左ノ二種トス

第一　普通圖書

第二　貴重圖書

第三條　本校卒業生、諸官廳學校職員、公私團體ノ役員若ハ個人ニシテ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ本館閱覽室ニ於テ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第四條　圖書ヲ借受若ハ閱覽セムトスル者ハ圖書館ニ就キ定式ノ證書用紙ニ相當記入ヲ爲シ圖書館員ニ差出スヘシ但シ學生ハ同時ニ交付セル圖書借受票又ハ閱覽票ヲ提出スヘシ

第五條　本館員ノ外圖書ノ出納ヲナスコトヲ得ス

第六條　本館ハ左記ノ日ヲ除クノ外之ヲ開ク但シ臨時之ヲ開閉スルコ

トアルヘシ

1. 大祭祝日
2. 日曜日
3. 學校記念日
4. 自七月二十一日<br>至七月三十一日
5. 自十二月二十五日<br>至 一 月 五 日

開館時間ハ學校長ノ許可ヲ經テ圖書館長之ヲ定ム

## 第二章　圖書貸付

第七條　圖書貸付ハ公用貸付ト個人貸付トニ分ツ

第八條　公用貸付ハ各部局長其ノ責ニ任シテ借受クル者ニシテ其ノ部局ノ職務上必須ナルモノニ限リ一定ノ場所ニ備付クルモノトス但シ其ノ貸付冊數ヲ制限セス

第九條　個人貸付ハ職員及學生ノ借受クル者ニシテ其ノ借受冊數ノ制限左ノ如シ

| | |
|---|---|
| 教授　助教授　講師 | 五冊 |
| 其ノ他ノ職員 | 二冊 |
| 學生 | 一冊 |

但シ擔任教員ノ證明ヲ經テ圖書館長ノ承諾ヲ得タル學生ハ借受冊數ヲ增加スルコトヲ得

第十條　貴重圖書及本館ニテ指定シタル圖書ハ一切之ヲ貸出スルコトヲ得ス

第十一條　新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ貸付セス

第十二條　借受シタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ得ス但シ公用貸付ノ圖書ハ第四號ノ手續ヲ準用シテ他ニ貸付スルコトヲ得



第十三條　學生ニシテ圖書ヲ借受ケタル者ハ一週間以內ニ必ス返納スヘシ但シ引續キ借受ノ必要アルモノハ他ニ同書借受ノ要求ナキトキハ引續キ貸付スルコトアルヘシ

第十四條　總テ借受シタル圖書ハ夏期休業マテニ必ス返納スヘシ但シ公用貸付ノモノハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　夏期及冬期休業中圖書ヲ借受ケムトスルトキハ更ニ借受ノ手續ヲナシ學生ハ特ニ二冊ヲ限リ借受クルコトヲ得

第十六條　夏期及冬期休業中借受シタル圖書ハ休業終了後五日以內ニ必ス返納スヘシ

第十七條　職員退職、轉任ノ場合、學生卒業、退學、休學ノ場合ハ其ノ借受シタル圖書ヲ直ニ必ス返納スヘシ

## 第三章　閱覽

第十八條　閱覽冊數ハ一時ニ三冊ヲ過クルコトヲ得ス

第十九條　圖書ハ必ス閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ閱覽室備付ノ圖書及定期刊行物ハ閱覽シ了レハ直ニ所定ノ場所ニ納メ置クヘシ

第二十條　貴重圖書ハ特ニ定メタル別席ニ於テ閱覽セシム

第二十一條　閱覽室內ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ一切音讀、談話、喫煙、飮食等ヲ禁ス

第二十二條　閱覽室ニ出入スル者ハ圖書文房具ノ外他ノ物品ヲ携帶スルヲ許サス

## 第四章　檢索

第二十三條　各部局長及教員ハ公務上必要ノ場合ニ於テハ圖書館員ノ認諾ヲ得テ書庫內ニ入リテ圖書ノ檢索ヲナスコトヲ得

第二十四條　五人以上同時ニ書庫內ニ入リテ圖書ノ檢索ヲナスコトヲ得ス

第二十五條　書庫內ニ入リテ圖書ヲ檢索スルノ際圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ノ障礙ヲナササル樣注意スヘシ

第五章　點檢

第二十六條　貸付シタル圖書ハ臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ

第二十七條　公用貸付ノ圖書ハ本館員出張ノ上點檢スルコトアルヘシ

第六章　制裁

第二十八條　借受シタル圖書ハ借受者其ノ保存ノ責ニ任シ紛失汚損等ノ行爲アリタルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ修補セシム但シ時宜ニ依リ代價ヲ以テ償ハシムルコトアルヘシ

第二十九條　本則ニ違背シタル者アルトキハ其ノ輕重ニ從ヒ一定ノ期間若ハ無期限ニ圖書ノ閱覽及貸付ヲ禁スルコトアルヘシ

第三十條　除名、停學、放校ノ處分ヲ受ケタル者ハ直ニ其ノ借受シタル圖書ヲ返納セシメ又ハ閱覽ヲ停止スヘシ

第三十一條　圖書ヲ辨償セシメ若ハ貸付閱覽ヲ停止スヘキ者アリト認ムルトキハ圖書館長ハ意見ヲ具シテ學校長ニ稟申スヘシ

## 16. 實驗農場規程

第一條　實驗農場ノ事務ヲ種藝部、園藝部、畜產部、農產製造部及養蠶部ニ分チ各部ニ主任竝係員ヲ置ク

第二條　主任ハ實驗農場長ノ命ヲ受ケ各部整理ノ責ニ任シ係員ハ各主任ノ命ヲ受ケ各部ノ事務ニ從事ス

第三條　各部ニ於テ處理スヘキ業務左ノ如シ

1. 種藝部　種藝ニ關スル一切ノ事項、堆肥ノ製造、農夫竝傭人ノ取締ニ關スル事項竝農業動力ニ關スル事項



2. 園藝部　園藝溫室竝見本園ニ關スル一切ノ事項
3. 畜產部　畜產ニ關スル一切ノ事項竝牧草地ニ關スル事項
4. 農產製造部　農產製造ニ關スル一切ノ事項
5. 養蠶部　養蠶ニ關スル一切ノ事項竝桑園ニ關スル事項

第四條　實驗農場長ハ每年各部主任ニ左ノ事項ニ關スル書類ヲ作製セシメ之ヲ學校長ニ提出スヘシ

1. 每年四月　前年度ニ於ケル事業功程竝收支決算
2. 每年三月　翌年度ニ於ケル事業計劃

第五條　實驗實習ニ關スル事項及生產物取扱ニ關スル事項ハ實驗農場長ノ命ヲ受ケ各部ニ於テ處理スルモノトス

第六條　農學科、農藝化學科ノ部員ニシテ實驗農場ニ於テ實驗セムトスル時ハ豫メ實驗農場長及主任ノ認諾ヲ經ルモノトス

## 17. 養蠶室規程

第一條　蠶室內ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ苟モ喧噪ノ行爲アルヘカラス

第二條　蠶室內ニ於テハ特ニ火氣ニ注意シ喫煙及飮食ヲ嚴禁ス

第三條　主任敎員ノ許可ナクシテ外來人ヲ蠶室內ニ誘ヒ入ルヘカラス

第四條　蠶室內ハ淸潔ニ保チ常ニ整頓シ置クヘシ

第五條　出入ハ必ス學生昇降口ヨリナシ土足又ハ靴ノ儘ニテ室內ニ入ルヘカラス

第六條　日々揭示ニ注意シ指示ノ作業ハ機敏ナルヲ要ス

第七條　各室ニ室長及副室長ヲ置キ室內一切ノ整理ヲナサシム

第八條　室長及副室長ハ各室學生間ノ選擧ニ據リ主任敎員之ヲ定ム

第九條　各室ニ貸付シタル蠶具其ノ他ノ物品ハ叮嚀ニ取扱ヒ使用後ハ必ス所定ノ場所ニ整理シ置クヘシ

第十條　學生ハ交代ニ宿直スルモノトス

## 18. 養蠶實習規程

第一條　農學科第二學年ニハ專ラ蠶兒飼育ノ實習ヲ課シ消毒、催青、採桑、飼育、殺蛹、製種、調査等ヲ爲サシム

第二條　農學科第二學年ニハ三齡以後飼育中他ノ學科ヲ課セサルコトアルヘシ

第三條　養蠶實習中蠶室、桑場、採桑、宿直等ノ當番ヲ置キ作業ヲ分掌セシム各當番心得ハ別ニ之ヲ定ム

第四條　養蠶實習ニ關シテハ教員ノ指揮命令ニ從フヘシ

## 19. 警備及非常手配規程

### 1. 警　　備

第一條　煖爐又ハ火鉢使用中ハ守衛及小使時々各室ヲ巡視シ火氣ノ疎漏ナキ樣注意スヘシ

學生控所又ハ一時授業ヲ爲ササル教室等ハ特ニ每時間ノ始メニ巡視スヘシ

第二條　終業又ハ職員退廳ノ際ハ小使直ニ煖爐、火鉢等ノ殘火ヲ取除キ火氣全ク去リタル後叮嚀ニ之ヲ掃除スヘシ、煖爐又ハ火鉢使用中ハ職員退廳ノ際守衛又ハ小使ニ其ノ旨ヲ告ケ退出スヘシ

第三條　寄宿舍ニ於テハ學生不在中小使時々各室ヲ巡視シ火氣ヲ警戒スヘシ

寄宿生ハ始業就寢又ハ外出十分前各自使用ノ火鉢ヲ火氣ノ疎漏ナキ樣叮嚀ニ埋火ト爲シ其ノ上ニ藥罐ヲ置キ尙備付ノ金網籠ヲ以テ覆フヘシ



第四條　炊事場及浴室火焚場ニ於テハ炊夫及小使常ニ火氣ヲ警戒シ焚付等燃燒シ易キモノヲ附近ニ殘留スヘカラス又用火後ハ能ク其ノ殘火ヲ取除クヘシ

小使室ノ爐ハ就寢前殘火ハ叮嚀ニ埋火トナシ鐵製ノ爐蓋ヲ覆フヘシ

第五條　火氣及焚灰等ヲ取除キ及運搬ノ際ハ疎漏ナキ樣注意シ取除キタル火氣及焚灰等ハ一定ノ場所ニ持チ行キ充分之ヲ始末スヘシ

第六條　小使及炊夫ハ火氣焚灰等ヲ取除キ其ノ始末ヲ終リタルトキハ直ニ之ヲ守衛ニ報告スヘシ

守衛前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ巡視シ萬一ニモ過失ナキ樣注意スヘシ

第七條　夜間ハ宿直員一回以上守衛三回以上各建物ノ內外ヲ巡視シ萬事警衛ノ任ニ當ルヘキハ勿論巡視ノ際特ニ火氣ニ注意スヘシ

寄宿舍ニ在リテハ小使ハ夜間二回以上舍內ヲ巡視スヘシ但シ一回ハ舍生就寢後一時間內外ノトキニ於テ巡視スヘシ

第八條　構內ニ在リテハ特定ノ場所以外ニ於テ喫煙又ハ焚火ヲ爲スヘカラス

煙草吹殼ハ必ス火鉢又ハ灰皿ニ棄入スヘシ

第九條　煖爐、火鉢、運火器等使用中ハ破損ノ箇所ナキ樣常ニ注意シ若シ之ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ使用ヲ禁シ修理ヲ加フヘシ

使用中ノ煙突ハ每週一回之ヲ掃除スヘシ

第十條　倉庫ノ入口及窓ハ會計課ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミ其ノ完全ヲ計リ且ツ常ニ目塗用土ヲ所定ノ場所ニ備ヘ置キ臨機使用ニ差支ナキ樣注意スヘシ

第十一條　職員及傭人ハ終業又ハ退廳ノ際書類、器具及機械等ヲ夫々整頓シ容器アルモノハ之ニ納メ鎖鑰アルモノハ之ヲ施シ所定ノ場所

＝置キ又非常ノ場合第一＝持退ノ要アル重要書類其ノ他ノ貴重物品ノ容器＝ハ見易キ箇所＝「非常持出」ト朱書シタル紙片ヲ貼付シ置クヘシ

第十二條　火災、風水害等非常事變豫防ノ爲メ建物監守者及會計課長ハ常＝警備監督ノ任＝當ルヘシ

實驗又ハ實習＝火氣ヲ使用スル場合及危險藥品ノ保管及取扱上ノ注意＝對シテハ擔任教員主トシテ其ノ責ヲ負ヒ警備監督ノ任＝當ルヘシ

2. 非 常 手 配

第十三條　校內ノ出火若ハ近火、水災等事變ノ際ハ宿直員、守衛又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ハ直＝最寄備付ノ消火器又ハ給水栓等ヲ以テ手後レナキ樣相當ノ手配ヲ爲シ同時＝當該建物監守者、擔任教員、各部局長及學校長＝急報スヘシ

第十四條　校內失火又ハ近火等＝シテ多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ハ前條ノ外「サイレン」及其ノ他ノ方法ヲ以テ廣ク之ヲ急報シ且ツ速＝警察署＝報知スヘシ

第十五條　前條ノ急報ヲ聞キタルトキハ職員及傭人一同直＝駈付ケ上官ノ指揮＝從ヒ各其ノ部署＝就クヘシ

學生ハ寄宿舍玄關前庭＝集合シ學生課員ノ指揮ヲ受クヘシ

第十六條　校內失火又ハ近火＝シテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ庶務課員又ハ宿直員＝於テ先ツ　御眞影竝勅語謄本ヲ校內安全ノ場所＝奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第十七條　火災等ノ手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ夫々分掌ノ手配＝從事スルモノトス

（イ）防　火　掛



（ロ）運　搬　掛

（ハ）警　戒　掛

第十八條　各掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

（イ）防　火　掛

1. 校內出火ノ際ハ直＝備付ノ消火栓用「スタンドパルプ」同布「ホース」消火器及消火彈等ヲ使用シ專ラ消防ヲ爲スコト
2. 近火ノ際延燒ノ虞アルトキハ建物＝水ヲ注キ充分豫防スルコト
3. 防火上障害ト認ムルモノハ之ヲ撤去又ハ破壞スルコト
4. 水災ノ際ハ臨機防水ノ處置ヲ爲スヘシ

（ロ）運　搬　掛

1. 校內ノ書類、圖書、器械、器具其ノ他ノ物品ヲ安全ナル場所＝運搬スルコト
2. 物品ヲ搬出スル順序ハ火元最寄ノ場所ヨリ始メ且ツ「非常持退」ト記シタル貴重品ヲ先＝シテ書類圖書其ノ他一般ノ物品＝及フコト
3. 水災ノ際校舍＝浸水セムトスルトキハ貴重品、書類及圖書機械其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所＝運搬スヘシ

（ハ）警　戒　掛

1. 學校ノ周圍ヲ警戒シ本校職員、學生、傭人其ノ他官衙ノ職員警官、消防夫及常時出入ノ諸商人職工ノ外ハ入ルヲ禁止スルコト
2. 玄關＝受附所ヲ設ケ出入者ヲ監視シ駈付人氏名等ヲ書留メ置クコト
3. 始終校內ヲ巡邏シ盜難等ヲ警戒スルコト特＝搬出シタル物品ハ監視者ヲ附シ嚴重＝取締ヲ爲スコト

4. 倉庫ヲ警戒シ其ノ出入口及窓等ニ目塗ノ用意ヲ爲シ物品運搬ノ上又ハ運搬ヲ俟タス直ニ之ヲ締切ル等適宜手配ヲ爲スコト

5. 夜中ニ在リテハ玄關ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈シ又各所入口開扉ノ用意ヲ爲スコト

第十九條　各掛ニ長ヲ置キ學校長之ヲ命ス但シ非常ノ際掛長駈付ケ得サルトキハ臨機在校職員上官ノ指揮ヲ受ケ其ノ任ニ當ルヘシ

職員及傭人ノ部署ハ別ニ會計課ニ於テ之ヲ定メ學生ノ部署ハ學生課ニ於テ別ニ之ヲ定ム

前項職員、傭人及學生ノ部署ハ非常ノ際臨機之ヲ變更スルコトアルヘシ

第二十條　左ノ非常用具ハ各掛長ニ於テ能ク之ヲ整頓保管シ「スタンドバルブ」其ノ他ノ器類ハ時々之ヲ點檢試用シ常ニ支障ナカラムコトヲ要ス

1. スタンドバルブ
2. 消火栓用ホース及筒先
3. 消　火　彈
4. 消　火　器
5. 梯　　子
6. 鳶　　口
7. ヅック製手桶
8. 運搬用ヅック袋及擔架
9. 高張提灯及非常用提灯
10. 蠟燭及摺附木

第二十一條　消火彈、消火器及室內消火栓用ホース、筒先ハ各建物內適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ



消火器ニハ藥品充填ノ年月日及其ノ有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前藥品ノ充填換ヲ爲スヘシ當該建物監守者及會計課員ハ時々消火器ノ効ヲ試驗スヘシ

第二十二條　職員、學生及傭人ハ平素消火器ノ所在及使用法ヲ心得置キ非常ノ場合之ヲ有効ニ使用スル樣心掛クヘシ

每學期一回以上職員、學生及傭人一同火災手配ノ演習ヲ爲スヘシ但シ非常「サイレン」ヲ鳴ラシ臨時演習ヲ行フコトアルヘシ

## 20. 清　潔　方　法

第一條　清潔方法ヲ分チテ日常清潔方法、定期清潔方法及臨時清潔方法トス

### 日 常 清 潔 方 法

第二條　日常舍內ノ掃除ハ窓戶ヲ開キ塵拂ヲ以テ四周ノ壁、戶、障子及机、卓子等ヲ拂ヒ如露ヲ以テ牀板、階段及廊下等ニ少シク撒水シテ掃キ出シタル後濕布ヲ以テ机、卓子等ヲ拭フヘシ

第三條　教室ハ授業ノ終リタル後事務室ハ退廳後ニ於テ每日掃除ヲ爲スヘシ

第四條　教室、事務室ノ牀板ハ每週一回廊下ハ數回洗拭スヘシ

第五條　寄宿舍ノ廊下、階段ハ每朝掃除シ必要ニ應シ每日午後ニ於テ一回撒水ヲ爲シ且ツ每週一回洗拭スヘシ

第六條　寄宿舍ノ室內ハ生徒ニ於テ小使ノ廊下掃除ヲ爲ス以前ニ掃除ヲ爲スヘシ

第七條　食堂、炊事場、浴室、洗面所ハ每日掃除シ且ツ時々窓戶ヲ開キ空氣ヲ流通セシメ惡臭ノ鬱滯ナキヲ務ムヘシ殊ニ食堂ハ使用ノ前後ニ濕布ヲ以テ食卓ヲ拭ヒ牀面ニ撒水スヘシ

第八條　各室及廊下ニ備付アル唾壺及紙屑籠ハ毎日掃除シ夏期ハ唾壺ニ消毒液ヲ入レテ配置スヘシ

第九條　靴拭ハ毎日掃除スルノ外棕櫚製等ノモノハ快晴ノ日ニ於テ乾燥セシメタル上土芥ヲ拂フヘシ

第十條　便所ノ尿溝及注壁等ハ水ヲ以テ洗ヒ圖房ハ濕布ヲ以テ拭ヒ夏ハ時々糞壺內ニ防臭藥ヲ撒布スヘシ

第十一條　下水ハ常ニ疎通セシメ炊事場、浴室、洗面所等ノ下水ハ毎月一回以上浚渫スヘシ

第十二條　校舍外不潔ノ場所ハ毎日小使ヲシテ掃除セシムヘシ但シ炊事場、食堂、浴室、洗面所ハ炊夫ヲシテ常ニ舍外近傍ノ不潔場所ヲ掃除セシムヘシ

第十三條　塵芥及下水溝渠等ヲ浚渫シタル汚泥其ノ他ノ不潔物ハ適當ノ場所ニ埋沒又ハ燒却スヘシ

定期清潔方法

第十四條　定期室內大掃除ハ左ノ方法ニ依ル

1. 室內ニアル机、卓子、腰掛、戸棚、疊等ヲ室外ニ搬出シ戸、障子、窓掛ヲ外シ牀板及廊下ニ撒水シ天井四壁ヲ拂ヒテ後牀面廊下ヲ洗拭シ器具等ハ塵ヲ拂ヒ濕布ヲ以テ洗拭シ得サルモノハ日光ニ曝シテ刷掃スヘシ但シ器械、標本及藥品等ヲ配列シアル室ハ其ノ主任教員ノ指揮ニ從ヒテ掃除スヘシ
2. 傳染病患者アリタル室ハ牀下ヲ掃除シ消毒液(生石灰又ハ石灰乳)ヲ撒布シ且ツ必要ト認ムルトキハ其ノ他ノ消毒法ヲ行ヒタル上前項ノ掃除ヲ爲スヘシ但シ塵芥ハ必ス燒却スヘシ
3. 前二項ノ掃除ヲ爲シタル後各室及廊下等ノ窓硝子ヲ內外ヨリ透明ニ拭ヒ窓掛敷物等ハ洗濯シ其ノ洗濯シ得サルモノハ日光ニ曝



シテ刷掃スヘシ

4. 前三項ハ毎年春期施行スヘシ

臨時清潔方法

第十五條　傳染病流行ノ際ニハ全校舍又ハ一部分ニ定期清潔方法又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ清潔法ヲ行フモノトス

第十六條　洪水ノタメ水害ヲ被リタル場合ニハ左ノ清潔方法ヲ施行スヘシ

1. 水ニ浸サレタル校舍殊ニ寄宿舍ノ建具、牀板等ハ取外シテ空氣ヲ通シ且ツ牀下ノ汚物、泥土ヲ除去シ充分ニ乾燥セシムヘシ
2. 建具、牀板、校具等ノ浸水シタルモノハ清水又ハ熱湯ヲ以テ洗拭シタル後可成之ヲ日光ニ曝シ充分ニ乾燥セシムヘシ
3. 右ノ外定期清潔方法ニ揭ケタル各項ヲ適宜應用スヘシ

## 21. 山田農學博士奬學資金

右ハ昭和八年六月山田農學博士還曆祝賀記念ノ爲有志ニ於テ醵集シ贈呈セシ內ヨリ帝國政府五分利公債額面壹千圓ヲ寄附セラレタルモノニシテ其ノ利子ヲ以テ學生ノ表彰及學術研究補助等ノ費途ニ充ツヘキモノトス

## 22. 守衛服務心得

第一條　守衛ハ本校一般ノ警備取締ニ從事シ受附及郵便物ノ受授ヲ爲スモノトス

前項ノ外上官ノ命ニ依リ臨時他ノ職務ニ從事セシムルコトアルヘシ

第二條　守衛中ニ守衛長一人ヲ置ク守衛長ハ守衛ヲ指揮シ職務上心付キタル事ヲ上官ニ申述スヘシ

第三條　守衛ノ勤務ハ當分ノ間晝夜勤務及晝間勤務トス

第四條　晝夜勤務當番ノモノハ其ノ日ノ晝間受附ニ從事シ晝間勤務當番ノモノハ巡視ヲ爲スヘシ

第五條　晝間勤務ノモノハ退廳時間後各室內ヲ巡視シ戸締ヲ施シ之ヲ晝夜勤務ノモノニ引繼ヲ爲シタル上ニ非サレハ退出スル事ヲ得ス

第六條　晝夜勤務ノ者ハ前條ノ引繼ヲ受ケタル後ハ主トシテ校舍內外ノ巡視ニ當ル傍受附ヲ兼ヌヘシ

第七條　受附ハ書留以外一切ノ郵便物ヲ受取リ之ヲ郵便物受附簿ニ記載シ直ニ一定ノ係員ニ引繼クヘシ

第八條　巡視ハ巡邏表ニ依リ校舍內外ヲ精密ニ巡察シ各要所備付ノ鍵ヲ以テ順次監査器ヲ巻クヘシ

第九條　巡視中構內ニ於テ異狀ヲ發見シタル時ハ應急ノ處置ヲ爲シ係員ヘ急報スヘシ

第十條　巡視中構內ニ於テ作業ニ從事スル者アル時ハ關係者ノ氏名ヲ糺シ置キ風体擧動不審ノ者ヲ認メタル時ハ係員ニ急報シ其ノ處分ヲ求ムヘシ

第十一條　守衞ハ構內ニ於テ火防又ハ建物保存上危險ト認ムル行爲アルトキハ何人ヲ不問之ヲ注意スヘシ

第十二條　校內ヨリ物品ヲ持出サムトスル者アル時ハ係員ノ證明アルモノニ非サレハ之ヲ抗ムヘシ

第十三條　守衞ハ日誌ニ當番氏名及取扱ヒタル事項ノ概要ヲ記載シ翌朝會計課長ニ差出スヘシ

附　則

第十四條　巡邏表及巡視時間割ハ別ニ之ヲ定ム

## 23. 常傭人服務心得



第一條　給仕小使農夫ノ服務心得ハ本規程ニヨルヘシ

第二條　勤務時間ハ別ニ定ムルモノノ外午前七時ヨリ午後五時迄トス但シ公務繁劇ノ場合ハ特ニ延長シ夏期ハ之ヲ短縮スルコトアルヘシ

第三條　小使農夫ハ每日一名以上其ノ詰所ニ於テ輪番宿直セシムルコトアルヘシ

第四條　勤務中ハ容儀ヲ正シクシ禮節ヲ重ンシ人ニ接スル時ハ懇切叮嚀ヲ旨トシ傲慢ノ態度アルヘカラス

第五條　火氣ニ注意シ火防上心付キタル事ハ應急ノ處置ヲナシ其ノ顚末ヲ上官ニ申出ツヘシ

第六條　新ニ採用セラレタル者ハ消火器ノ使用竝水道防火栓利用ノ方法ヲ心得置クヘシ

第七條　炊事場、風呂場、溫室等ノ煙筒ハ別ニ日割ヲ設ケ每週一回以上掃除ヲナスヘシ

第八條　本校又ハ附近ニ失火其ノ他非常事變アリタル時ハ直ニ駈付係員ノ指揮ニ從フヘシ

第九條　建物及器物ハ叮重ナル取扱ヒヲナシ若シ破損シタルモノアル時ハ直ニ係員ノ手ヲ經テ會計課ヘ申出ツヘシ

第十條　淸潔ヲ旨トシ詰所備付ノ物品ハ豫メ配置場所ヲ定メ常ニ之ヲ整頓シ置キ他ヘ紛逸セサル樣注意スヘシ

第十一條　校內ニ於テ遺失物ヲ拾得シタルトキハ場所時刻等ヲ具シ現品ヲ會計課ヘ屆出ツヘシ

第十二條　已ムヲ得サル場合ノ外詰所ヘ他人ヲ導キ又ハ濫ニ詰所ヲ離ルヘカラス

第十三條　詰所ニ於テハ特ニ許サレタル場合ノ外濫ニ飮酒ヲナスヘカラス

第十四條　職務上心付キタル廉アルトキハ其ノ旨係員ヘ申出ツヘシ

第十五條　退出ノ際當日取扱ヒタル用務ニシテ未完了ノモノアルトキハ當直者ニ遺漏ナク引繼キ置クヘシ

第十六條　本校職員服務心得第一條乃至第四條及第五條但書ハ之ヲ常傭人ニ準用ス

第十七條　其ノ他必要ノ事項ハ給仕小使ニアリテハ會計課長農夫ニアリテハ係教員ヨリ之ヲ命スル事アルヘシ

## 24. 常傭人被服規程

第一條　本校守衛給仕小使ノ被服ハ別表ノ通リ現品ヲ貸與ス

第二條　被服ハ每年六月一日ヨリ夏服十月十五日ヨリ冬服ヲ着用セシム

第三條　被服ハ夏服二着冬服一着トシ貸與期限滿了後廢棄ニ付シタルモノハ之ヲ本人ニ給與スルコトアルヘシ

第四條　被服ノ使用期限中解傭セラレタルトキハ現品ヲ返納セシム

別　表

| 守衛 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 品目 | 品質 | 色 | 制式 | 使用期限 |
| 冬服 | 羅紗 | 黒又ハ紺 | 堅襟脊廣一行釦 | 二ケ年 |
| 夏服 | 小倉 | 白 | 同上 | 一ケ年 |
| 外套（甲） | 羅紗 | 黒 | 堅襟並形二行釦 | 三ケ年 |
| 同（乙） | 同 | 黒 | 半トンビ形 | 三ケ年 |
| 帽子 | 羅紗 | 黒 | 海軍帽形 | 三ケ年 |
| 同日覆 | 木綿 | 白 | | 二ケ年 |



| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 帽章 | 眞鍮 | | 高農（隷書） | |
| 長靴 | | | | 二ケ年 |
| 短靴 | | | | 一ケ年 |
| 給仕 | | | | |
| 冬服 | 羅紗 | 黒又ハ紺 | 堅襟脊廣一行釦 | 二ケ年 |
| 夏服 | 小倉 | 霜降 | 同 | 一ケ年 |
| 小使 | | | | |
| 冬服 | 小倉 | 黒 | 堅襟脊廣一行釦 | 一ケ年 |
| 夏服 | 小倉 | 霜降 | 堅襟脊廣一行釦 | 一ケ年 |
| 帽子 | 羅紗 | 黒 | 海軍帽形 | 三ケ年 |
| 同日覆 | 木綿 | 白 | | 二ケ年 |
| 前掛 | 木綿 | 冬霜降<br>夏白 | 筒袖付前掛 | 一ケ年 |

雨天外出ノ際ハ防水雨具ヲ貸與スルコトアルヘシ

## 25. 參觀人心得

1. 參觀希望ノ方ハ受附ヘ職業、住所、氏名又ハ團体名、人員、引率者職氏名等ヲ申出テラレタシ但シ學校ノ都合ニ依リ御斷リスルコトカアリマス
2. 參觀人ハ案內者ノ指揮ニ從ヒ勝手ニ諸室ヘ入テハナリマセン
3. 校舍其ノ他各室內ヘ土足又ハ汚レタル靴ノ儘ニテ入テハナリマセン
4. 校舍內ニ在リテハ帽子外套ヲ着用シ又ハ杖傘ノ類ヲ携帶シテハナリマセン
5. 左ノ事項ハ御斷リ致シマス

（1）參觀中喫煙スルコト

（2） 校舍内ニテ唾壺以外ニ唾唾ヲ吐クコト

（3） 喧噪雑話スルコト

（4） 作物標本其ノ他物品ニ手ヲ觸ルルコト

（5） 勝手ニ道路以外田園内ニ立チ入ルコト

## Ⅲ 職員 （昭和九年五月三十一日現在）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 學校長 | | 從三位 勳二等 | 農學博士 農學士 | 山田玄太郎 |

### 教授

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 植物學特別講義（兼） | 學校長 | | | 山田玄太郎 |
| 園藝學、造園學及實驗實習 | 農學科長 | 正五位 勳五等 | 農學士 | 平野英一 |
| 測量學及農業土木學 農具學、農業工學、物理學及氣象學及實驗 | 生徒主事 學生課長 | 正五位 勳六等 | 農學士 | 田中作治郎 |
| 生物化學、分析化學 植物榮養學及實驗 | 農藝化學科長 | 從五位 勳六等 | 農學博士 農學士 | 角倉邦彦 |
| 畜産學、畜産製造學 獸醫學大意及實驗實習 | 標本室主事 | 從五位 勳六等 | 農學士 | 本橋平一郎 |
| 農産製造學、應用菌學、醱酵生理學及實驗實習 | 圖書館長 | 從五位 | 農學士 | 西川英次郎 |
| 動物學及昆虫學、養蠶學、動物學特別講義及實驗實習 | 陸軍輜重兵少尉 | 從五位 勳六等 | 農學士 | 猪股修二郎 |
| 作物學及育種學、實驗遺傳學及實驗實習 | 實驗農場長 | 從五位 | 農學博士 農學士 | 石川潤一 |
| 農業經營學、農業政策、經濟學及演習 | 教務課長 | 從五位 | 農學士 | 山桝忠好 |
| 工業化學、物理化學 數學、化學及分析 機械學、農業藥物學 | | 從五位 | 工學士 | 河崎武矣 |



| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 有機化學、食品化學 家畜榮養學及實驗 | | 從五位 | 農學士 | 武田憲治 |
| 林學大意、獨逸語 植物學特別講義 | | 從五位 | 林學博士 林學士 | 原勝 |
| 法學大意及農業法規 植民政策及植民地産業論、英語 | | 正六位 | 農學士 法學士 | 金子平一 |
| 鑛物學及地質學、無機化學、化學及分析及實驗 | | 正六位 勳六等 | 農學得業士 | 原田光 |
| 修身、教育學、英語 | 生徒主事 | 從六位 | 文學士 | 井森陸平 |
| 植物學及植物病理學 植物學特別講義及實驗 | | 從六位 | 農學士 | 平塚直秀 |
| 肥料學、土壤學及實驗 | 生徒主事 | 正七位 | 農學士 | 池田實 |

### 助教授

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 測量學及農業土木學 農業工學及實習 | | 勳八等 | 林學得業士 | 伊藤敬二郎 |
| 作物學及育種學、農場實習 | 生徒主事補 | | 農學得業士 | 久保佐土美 |
| 化學實驗 | 生徒主事補 | | 農學得業士 | 細田克己 |
| 植物學特別講義、植物學及植物病理學實驗 | | | 農學得業士 | 廣江勇 |
| 園藝學、農場實習 | 陸軍歩兵少尉 正八位 | | 農學得業士 | 山田周平 |
| 農場實習 | | | 農學得業士 | 西尾猛雄 |
| 養蠶學及實習實驗 | | | | 板谷健吾 |

### 助手

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 農産製造學實習 | 陸軍歩兵少尉 正八位 | | 農學得業士 | 押田通 |

### 配屬將校

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 教練 | | 歩兵第四十聯隊 陸軍歩兵中佐 正六位勳四等 | | 小林長次 |

## 講師

| | | | |
|---|---|---|---|
| 體操 | 學生課勤務 | 佐陸 四五 等位 | 少兵 勤 |
| 肥料學 | | 士學 | 農 |
| 農場實習 | | 士學得 | 農 |

## 書記

| | | |
|---|---|---|
| 庶務課兼會計課兼圖書館兼實驗農場兼會計課兼教務課 | 主任報告官 | |

## 會計課

| | | |
|---|---|---|
| 收入官吏 | 主任 | |
| 會計官吏 | 會計 | |
| 物品會計官吏 | 會計 | |

## 囑託

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事務囑託 | 會計課長事務取扱 | 正七位 勤六等 | |
| 事務囑託 | 庶務課長事務取扱兼教務課勤務 | 正七位 勤七等 | |

## 實習教師

## 體操教師

## 實習教師

## 武術教師（柔道）

## 武術教師（劍道）

## 學校醫

## 雇員

## 學生課

## 會計課

## 庶務課兼教務課

| | | | |
|---|---|---|---|
| 五藤慶治 | 陸軍歩兵少佐 勤四等 從五位 | | |
| 恒藤規隆 | 農學博士 | 正五位 勤五等 | |
| 森友政勝 | 農學得業士 | | |
| 山本雷 | | | |
| 山根信 | | | |
| 佐々木蕃一 | | | |
| 田中實 | | | |
| 井口尻次郎 | | 正七位 勤六等 | |
| 加藤節藏 | | 正七位 勤七等 | |
| 西村賢治 | | | |
| 山本眞澄 | 陸軍歩兵特務曹長 | | |
| 天野次郎 | | | |
| 長石俊男 | 鳥取縣立鳥取第一中學校教諭 | | |
| 濱淵直藏 | 鳥取縣師範學校武術教師 | | |
| 石河利三 | 醫學士 | | |
| 安達勝治 | 陸軍歩兵特務曹長 勤七等 | | |
| 笹尾重隆 | 陸軍看護長上等 勤七等 | | |
| 井上永治 | | | |



## 會計課

## 會計課

## 農藝化學科

## 圖書館

## 副手

| | | |
|---|---|---|
| 生物化學實驗室 | 山根史郎 | 農學得業士 |
| 食品化學實驗室 | 山田嘉雄 | 農學得業士 |
| 應用菌學實驗室 | 黒田義秋 | 農學得業士 |
| 作物學實驗室 | 永井健三 | 農學得業士 |
| 物理學實驗室 | 神庭郁夫 | 農學得業士 |
| 土壤肥料學實驗室 | 松岡茂信 | 農學得業士 |
| 實驗農場 | 中村正年 | 農學得業士 |
| 園藝學實驗室 | 田中吉溫 | 農學得業士 |
| 植物學實驗室 | 飛永英次 | 農學得業士 |
| 實驗農場 | 岡村美佐雄 | 農學得業士 |

# V 學生

## 1. 學生氏名 (ABC順)

○農學科 第三學年

| | |
|---|---|
| 秋田盈（廣島） | 青野守雄（愛媛） |
| 阿蘇谷正治（鹿兒島） | 花田正一（福岡） |
| 平井正（福岡） | 廣安省三（廣島） |
| 堀登（鹿兒島） | 出田正夫（大分） |
| 生野敏美（鳥取） | 今井正信（福岡） |

井上定喜（鳥取）　岩本英男（山口）
筧　眞佐雄（鳥取）　勝部正夫（島根）
川口順三（鳥取）　河原榮治（鳥取）
河合　修（廣島）　湖山利篤（鳥取）
楠田六郎（兵庫）　水姓公善（鳥取）
森　誠直（鳥取）　長尾　勇（熊本）
中田義一（鳥取）　新見　修（鳥取）
西川英雄（鳥取）　西尾圭介（鳥取）
野間陽三（廣島）　大深重義（山口）
齋尾嘉久（鳥取）　清水正夫（兵庫）
鹽谷信義（鳥取）　瀧川光男（滋賀）
田中保治（鳥取）　谷　幸男（奈良）
谷本哲夫（鳥取）　寺谷久男（鳥取）
鳥越高志（岡山）　上原富三郎（鳥取）
渡邊義治（島根）　山內初之助（福島）

○農學科　第二學年

福滿　實（廣島）　福田安正（鳥取）
吳　潤根（朝鮮）　橋本禮二（鳥取）
林　正治（鳥取）　平川正德（熊本）
堀畑正喜（奈良）　堀田　享（愛知）
猪股德昌（秋田）　筧　末男（鳥取）
神野尚起（岡山）　片桐典夫（滋賀）
河野信雄（山口）　兒島二郎（岡山）
久保勝次（山口）　熊本末雄（廣島）
桑田常雄（兵庫）　松永忠生（廣島）



三島勝郎（島根）　森田　洋（廣島）
長尾悅治（岡山）　長島克巳（島根）
西尾靜雄（鳥取）　荻野　博（島根）
岡島六郎（廣島）　小野德壽（山梨）
大下正夫（廣島）　關尾章三（兵庫）
庄山正市（福岡）　菅原慶嘉（岩手）
高橋　理（德島）　谷口友三郎（京都）
內田安悅（島根）　上田正義（和歌山）
山田長吉（佐賀）　山下　武（鳥取）
安塚秀夫（鳥取）　吉村一男（鳥取）

○農學科　第一學年

青木　武（香川）　藤原秀一（兵庫）
藤岡　清（奈良）　福田正太郎（鳥取）
橋本一廣（鳥取）　原田悅郎（山形）
林　毅（兵庫）　平田正一（岡山）
本家榮治（鳥取）　池田稔夫（鳥取）
石田佑三（島根）　影山泰三（高知）
神吉龍藏（大阪）　川村　茂（高知）
河崎健夫（鳥取）　倉石典夫（島根）
皆田　武（廣島）　宮本秀三（福岡）
村上四郎（京都）　村田　宏（大阪）
中村敬治（鳥取）　西土井正夫（鳥取）
野原　悟（山口）　野間淳美（三重）
大林一夫（廣島）　小川　實（島根）
小椋新藏（鳥取）　置田美典（熊本）

奥村五郎（福岡）　齋藤政夫（山口）
鹽村功（鳥取）　住吉正巳（徳島）
高橋寅雄（廣島）　谷尾憲藏（鳥取）
渡部嘉壽美（愛媛）　渡部一眞（島根）
山田敬士（福井）　山崎精（鳥取）
山內淳（京都）　横井善吾（滋賀）
米本逸美（山口）　吉田勳（鳥取）
吉田勉（鳥取）

○農藝化學科　第三學年

淺野正和（東京）　文屋泰輔（岡山）
千葉常雄（青森）　藤本隆三（福井）
藤崎郁夫（鹿兒島）　林秀臣（和歌山）
細井登（鳥取）　堀田繁（佐賀）
池內吉治（兵庫）　乾周市（鳥取）
入江英太郎（鳥取）　龜井豊治（鳥取）
小谷達郎（鳥取）　三谷孝一（島根）
增田信夫（徳島）　大橋希夫（兵庫）
尾崎勝治（兵庫）　坂出憲治（鳥取）
坂本佳六（京都）　世利次郎（福岡）
篠田養三（山口）　惣津亨（岡山）
塚本晃（北海道）　上田貞雄（鳥取）
脇本政雄（愛媛）　山田剛（鳥取）
山口孝治（鳥取）　安木實（鳥取）
吉永秋生（熊本）

○農藝化學科　第二學年



有田昌雄（鳥取）　秋山英治（鳥取）
權藤義雄（福岡）　藤岡通夫（兵庫）
旗生靜登（福岡）　魚大慶（朝鮮）
伊藤雄一（秋田）　今橋良雄（山口）
景山正視（廣島）　嘉川睦夫（山口）
黑田斐文（岡山）　川村秋男（高知）
牧野德二（靜岡）　今野良典（山形）
松本忠明（愛媛）　松本紀元（熊本）
村田政春（鳥取）　水內富藏（鳥取）
中山一郎（大阪）　中山武夫（岡山）
西本正（廣島）　永田重太郎（靜岡）
大場一雄（神奈川）　西田正人（鳥取）
清水大二郎（新潟）　佐藤和夫（岐阜）
高野壽男（鳥取）　菅田茂（千葉）
富田節（岡山）　田中正身（滋賀）
植月士郎（岡山）　上林泰輔（鳥取）
八木壽一（山口）　上井義隆（石川）
矢野政太郎（香川）　山本眞一（長崎）
吉岡哲二（佐賀）　吉野俊太郎（神奈川）

○農藝化學科　第一學年

藤本織市（宮崎）　赤木雄二郎（兵庫）
福政貴之亮（鳥取）　藤原太郎（岡山）
橋本美好（大分）　伏見正三（兵庫）
細川忠行（岡山）　平島浩平（福岡）
笠置瑞穗（大分）　井上善一郎（鳥取）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 梶川豊明 | （鳥取） | 木下光則 | （熊本） |
| 清田亮夫 | （大阪） | 小池直人 | （長野） |
| 小池要三 | （佐賀） | 近藤壽 | （鳥取） |
| 牧村誠 | （鳥取） | 三谷禎二 | （島根） |
| 本山桂治 | （岡山） | 中村登代太 | （福岡） |
| 中島亮一 | （鳥取） | 小畑昌壽 | （鳥取） |
| 小田定行 | （廣島） | 小田壽 | （山口） |
| 沖廣松夫 | （廣島） | 奥島正三 | （愛媛） |
| 大阪信輔 | （秋田） | 大谷正雄 | （島根） |
| 佐伯茂 | （廣島） | 佐藤龍平 | （德島） |
| 佐藤嘉雄 | （岡山） | 清水英次郎 | （福岡） |
| 四宮康資 | （鳥取） | 莊野昌三 | （京都） |
| 曾田正 | （廣島） | 德田太四郎 | （鳥取） |
| 田中義隆 | （青森） | 烏越榮二 | （鳥取） |
| 山根順三 | （廣島） | 横木哲三 | （鳥取） |

## 2. 學生年齡

（昭和九年四月末日調）

| | 種別 | 年齡 最高 | 最低 | 平均 |
|---|---|---|---|---|
| 農學科 | 第一學年 | 20年10月 | 17年 2月 | 18年 6月 |
| | 第二學年 | 27 2 | 18 2 | 20 1 |
| | 第三學年 | 27 5 | 19 1 | 21 0 |
| 農藝化學科 | 第一學年 | 22 0 | 17 4 | 19 1 |
| | 第二學年 | 23 8 | 18 4 | 20 5 |
| | 第三學年 | 24 2 | 19 5 | 21 3 |



## 3. 在學生府縣別調

（昭和九年四月末日調）

| 府縣名 | 農學科 第一學年 | 第二學年 | 第三學年 | 計 | 農藝化學科 第一學年 | 第二學年 | 第三學年 | 計 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道廳 | | | | | | | 1 | 1 | 1 |
| 青森縣 | | | | | 1 | | 1 | 2 | 2 |
| 岩手縣 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| 秋田縣 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 2 | 3 |
| 山形縣 | 1 | | | 1 | | 1 | | 1 | 2 |
| 福島縣 | | | 1 | 1 | | | | | 1 |
| 東京府 | | | | | | | 1 | 1 | 1 |
| 神奈川縣 | | | | | | 2 | | 2 | 2 |
| 新潟縣 | | | | | | 1 | | 1 | 1 |
| 石川縣 | | | | | | 1 | | 1 | 1 |
| 福井縣 | 1 | | | 1 | | | 1 | 1 | 2 |
| 山梨縣 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| 長野縣 | | | | | 1 | | | 1 | 1 |
| 岐阜縣 | | | | | | 1 | | 1 | 1 |
| 靜岡縣 | | | | | | 2 | | 2 | 2 |
| 愛知縣 | | 1 | | 1 | | | | | 1 |
| 三重縣 | 1 | | | 1 | | | | | 1 |
| 滋賀縣 | 1 | 1 | 1 | 3 | | 1 | | 1 | 4 |
| 京都府 | 2 | 1 | | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 6 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大阪府 | 2 | | | 2 | 1 | 2 | | 3 | 5 |
| 兵庫縣 | 2 | 2 | 2 | 6 | 2 | 1 | 3 | 6 | 12 |
| 奈良縣 | 1 | 1 | 1 | 3 | | | | | 3 |
| 和歌山縣 | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 2 |
| 鳥取縣 | 13 | 8 | 18 | 39 | 11 | 7 | 10 | 28 | 67 |
| 島根縣 | 4 | 4 | 2 | 10 | 2 | | 1 | 3 | 13 |
| 岡山縣 | 1 | 3 | 1 | 5 | 4 | 4 | 2 | 10 | 15 |
| 廣島縣 | 3 | 6 | 4 | 13 | 5 | 2 | 1 | 8 | 21 |
| 山口縣 | 3 | 2 | 2 | 7 | 1 | 2 | | 3 | 10 |
| 德島縣 | 1 | 1 | | 2 | 1 | | 1 | 2 | 4 |
| 香川縣 | 1 | | | 1 | | 1 | | 1 | 2 |
| 愛媛縣 | 1 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 5 |
| 高知縣 | 2 | | | 2 | | 1 | | 1 | 3 |
| 福岡縣 | 2 | 1 | 3 | 6 | 3 | 2 | 1 | 6 | 12 |
| 佐賀縣 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 |
| 長崎縣 | 1 | | | 1 | | 1 | | 1 | 2 |
| 熊本縣 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 6 |
| 大分縣 | | | 1 | 1 | 2 | | | 2 | 3 |
| 宮崎縣 | | | | | 1 | | | 1 | 1 |
| 鹿兒島縣 | | | 2 | 2 | | | 1 | 1 | 3 |
| 朝鮮 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | 2 |
| 計 | 44 | 38 | 40 | 122 | 40 | 38 | 29 | 107 | 229 |



## 4. 入學志願者及入學者數

| | 農學科 | | | | | | 農藝化學科 | | | | | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 中學校出身者 | | 實業學校出身者 | | 計 | | 中學校出身者 | | 實業學校出身者 | | 計 | | | |
| | 入學志願者 | 入學者 | 入學志願者 | 入學者 | 入學志願者 | 入學者 | 入學志願者 | 入學者 | 入學志願者 | 入學者 | 入學志願者 | 入學者 | | |
| 大正十年 | 102 | 33 | 103 | 7 | 205 | 40 | 52 | 20 | 65 | 10 | 117 | 30 | 322 | 70 |
| 大正十一年 | 44 | 21 | 81 | 20 | 125 | 41 | 33 | 22 | 31 | 10 | 64 | 32 | 189 | 73 |
| 大正十二年 | 47 | 20 | 113 | 19 | 160 | 39 | 43 | 18 | 46 | 11 | 89 | 29 | 249 | 68 |
| 大正十三年 | 25 | 15 | 60 | 24 | 85 | 39 | 19 | 15 | 26 | 15 | 45 | 28 | 130 | 67 |
| 大正十四年 | 61 | 20 | 85 | 21 | 146 | 41 | 65 | 20 | 46 | 9 | 111 | 29 | 257 | 70 |
| 大正十五年 | 63 | 18 | 86 | 24 | 149 | 42 | 39 | 23 | 20 | 10 | 59 | 33 | 208 | 75 |
| 昭和二年 | 77 | 19 | 94 | 18 | 171 | 37 | 61 | 18 | 33 | 8 | 94 | 26 | 265 | 63 |
| 昭和三年 | 127 | 24 | 73 | 17 | 200 | 41 | 86 | 28 | 32 | 2 | 118 | 30 | 318 | 71 |
| 昭和四年 | 130 | 21 | 50 | 20 | 180 | 41 | 87 | 24 | 22 | 6 | 109 | 30 | 289 | 71 |
| 昭和五年 | 122 | 26 | 50 | 16 | 172 | 42 | 86 | 24 | 22 | 9 | 108 | 33 | 280 | 75 |
| 昭和六年 | 268 | 29 | 65 | 11 | 333 | 40 | 138 | 26 | 21 | 5 | 159 | 31 | 492 | 71 |
| 昭和七年 | 179 | 29 | 19 | 13 | 198 | 42 | 57 | 22 | 11 | 6 | 68 | 28 | 266 | 70 |
| 昭和八年 | 249 | 30 | 66 | 11 | 315 | 41 | 249 | 33 | 50 | 9 | 299 | 42 | 614 | 83 |
| 昭和九年 | 272 | 20 | 79 | 20 | 351 | 40 | 175 | 30 | 32 | 6 | 207 | 36 | 558 | 76 |

# Ⅵ 卒業生氏名

農學科 （ABC順）（氏名ノ上ニ×印ヲ附スルハ死亡ノモノ）

○大正十三年三月十八日卒業（第一回）（三十一人）

青野喜市（愛媛）
後藤義雄（大分）
今峰英三（岐阜）
神田美能留（岐阜）
近藤壽雄（鳥取）
黒田松雄（鳥取）
宮崎（岸改）重雄（鳥取）
森岡滉（鳥取）
中務三郎（大阪）
二宮丈夫（愛媛）
西尾愛治（鳥取）
砂口行衛（鳥取）
玉利幸次郎（鹿児島）
田中嘉男（鳥取）
上田博愛（鳥取）
吉川忠雄（高知）
千代間武夫（京都）
樋口庄嗣（西尾四郎改）（大阪）
×門脇基（鳥取）
樫尾久三（和歌山）
久保佐土美（高知）
松崎忠義（島根）
宮崎義雄（福岡）
護田浩二（鳥取）
繩田源太郎（鳥取）
錦織常市（島根）
野津要三郎（島根）
×竹内信（新潟）
田中彰一（鳥取）
谷口武雄（鳥取）
山本益雄（鳥取）

○大正十四年三月十五日卒業（第二回）（三十四人）

藤井順次郎（福岡）
東野太一郎（滋賀）
伊木榮（鳥取）
井上修一（香川）
岩田秀夫（鳥取）
×川口耐三（鹿児島）
河村勝（福岡）
×深水五郎（熊本）
廣江（松浦改）勇（島根）
今岡俊男（島根）
伊藤庄次郎（滋賀）
神田武（廣島）
河本直正（岡山）
北脇鷹一（島根）



小池鑑一（静岡）
中島丈夫（兵庫）
西谷（萬治改）幸長（鳥取）
太田勝造（大阪）
島村豊（島根）
×清水清（愛知）
寺島宣之（鳥取）
植原外三（兵庫）
柳（近藤改）喜徳（鹿児島）
依田清（岡山）
松本弘義（鳥取）
西田忠一郎（滋賀）
野田愛三（鳥取）
×重松天津男（佐賀）
清水源次郎（廣島）
田淵誠夫（鳥取）
富樫吉男（山形）
山本茂和（鳥取）
横田尙憲（島根）
米田盛（兵庫）

○大正十五年三月十五日卒業（第三回）（三十五人）

安藤史郎（岐阜）
江間繁雄（大阪）
濱崎正太郎（和歌山）
原田好美（福岡）
×今村晋之助（岡田改）（滋賀）
伊藤軍次（愛知）
河村駒市（島根）
河野肇（藤村改）（愛媛）
小山理朗（石川）
長尾信一（和歌山）
大賀正男（鳥取）
酒井（武田改）武治（新潟）
進藤辰雄（山梨）
田村善造（島根）
土井義行（鳥取）
遠藤茂（鳥取）
原田種文（福岡）
早川昇（滋賀）
石原隆作（新潟）
筧泰雄（鳥取）
近藤守男（福岡）
河野照義（愛媛）
松永數夫（福岡）
中尾順右衛門（島根）
尾平正義（鳥取）
櫻井生三（長野）
×高岡義廣（静岡）
田村敬之（廣島）

鳥羽　隆（三重）　　徳田二郎（鳥取）
宇野重種（島根）　　矢野寅重（愛媛）
吉田正人（山口）　　吉村實雄（鳥取）（河本改）
吉岡義民（鳥取）

○大正十五年四月九日卒業　（一人）

大井　輯（愛媛）

○大正十五年十月十九日卒業　（一人）

松坂　彌（和歌山）

○昭和二年三月十五日卒業（第四回）（三十六人）

千原英三（島根）　　福原捷海（廣島）
日置三郎（鳥取）（森本改）　　石井春平（鳥取）
石河好武（鳥取）　　伊藤健一（愛知）
岩崎淡紅郎（島根）　　上林忠次（京都）
神田巖（島根）　　片岡武雄（廣島）
木下貞治（鳥取）　　近藤禮吉（鳥取）
小刀留三（廣島）　　前島虎雄（鳥取）
前田俊三（奈良）　　松山精（長崎）
森本嘉右衞門（鳥取）　　森友政勝（福岡）
村上博靖（鳥取）　　村尾榮治（兵庫）
長岡亮（京都）　　中山幸太郎（靜岡）
西原吉輝（鳥取）　　西村春樹（廣島）
岡本義一（兵庫）　　瀬尾喜代藏（鳥取）
相馬丑五郎（栃木）　　高橋清（鳥取）
高柳良一（富山）　　竹内多（福岡）
玉井忠彦（山口）　　×谷口定次郎（鳥取）



徳永延一郎（愛媛）　　山増重雄（鳥取）
山崎譽時（鳥取）　　吉野剛（島根）

○昭和二年十月十三日卒業（一人）

山内訥（宮崎）

○昭和三年三月十五日卒業（第五回）（三十六人）

相生由太郎（福岡）（四郎改）　　有吉清（山口）
藤田繁夫（奈良）　　船木通夫（島根）
蜂巢敏（群馬）　　一木久（宮崎）
影山泛美（鳥取）　　蠣田春夫（廣島）
金塚榮市（島根）　　金致琨（朝鮮）
小谷英二（鳥取）　　倉原永利（大分）
倉光久四郎（福岡）　　松本榮（鳥取）
三宅利雄（岡山）　　椋貞男（島根）
中川元興（岡山）　　中井元四郎（鳥取）
中村勝一郎（富山）　　仲宗根文雄（沖繩）
西尾猛雄（鳥取）　　小椋重稔（鳥取）
大原清（山口）　　奥田文夫（京都）
澄川正利（島根）　　高橋義孝（山形）
田邊九八（鳥取）　　寺井孫之介（島根）
寺本勇作（石川）　　富樫稔（山形）
豊岡治平（岡山）　　塚本正美（兵庫）
山田周平（愛媛）　　山之口末吉（宮崎）
横木福美（鳥取）　　×横田信夫（岡山）

○昭和四年三月十五日卒業（第六回）（四十人）

淺沼喜道（鳥取）　　福井伊佐雄（奈良）

飯田　巖（大分）
廣岡辰三（鳥取）
猪股隆二郎（東京）
岩崎藤助（島根）
川口淺治（鳥取）
小谷繁雄（鳥取）
久保與三郎（長野）
松本武夫（鳥取）
宮石俊治（鳥取）
中村秀夫（兵庫）
中尾治幸（福岡）
×大城甚榮（沖繩）
齋藤英策（富山）
清水三郎（鳥取）
津川長治（奈良）
浦木孝一（鳥取）
渡邊敏雄（山口）
山際義鷹（大分）
矢野貞治（島根）

×後藤惠二郎（鳥取）
林　國三郎（島根）
稻葉丈夫（三重）
犬伏明三郎（德島）
加藤　裕（愛媛）
黃　成燁（朝鮮）
河野寅之助（愛媛）
增野　等（島根）
三國佐雄（山口）
森山廣信（島根）
仲埜隆治（兵庫）
大島佐吉（島根）
太田（淺野改）鎭（岡山）
關根善之助（神奈川）
高橋正男（島根）
植村義保（兵庫）
宇和野次男（宮城）
藪中利一（和歌山）
山根　顯（島根）

○昭和五年三月十五日卒業（第七回）（三十七人）

福島甲一（島根）
土師　功（鳥取）
日比俊夫（鳥取）
廣永修之助（山口）
細田　清（島根）
古林利德（鳥取）
波當根嘉之（鳥取）
平山義人（熊本）
廣岡廣一（兵庫）
石井輝士（福岡）



川上大治（岡山）
木南喜代治（鳥取）
的場　進（京都）
中田吉雄（鳥取）
小野　稔（岡山）
佐久保正造（島根）
佐々木守成（鳥取）
島崎眞行（高知）
鹽見　乾（京都）
高瀨孝一（富山）
田村　勇（島根）
上村　穰（島根）
×山下儼二郎（島根）
吉田安雄（島根）

川添（小野改）英敏（高知）
小谷喜彥（鳥取）
森本　茂（鳥取）
尾室（栗引改）才司（鳥取）
小野忠則（山梨）
皿谷元春（廣島）
鹿田三郎（鳥取）
進士義雄（靜岡）
高橋耕二（島根）
竹下和雄（島根）
鳥飼　元（鳥取）
梅田新藏（鳥取）
横井壽二（鳥取）

○昭和六年三月十五日卒業（第八回）（三十五人）

淺田顯一（京都）
池山泰之（鳥取）
糸賀繁人（島根）
笠木勝俊（鳥取）
岸本光男（鳥取）
丸山武男（兵庫）
前川俊雄（兵庫）
森　輝之（岡山）
中岡正人（廣島）
岡本楢治郎（奈良）
福本　嵩（兵庫）
石津章堂（山口）
岩水忠夫（島根）
川建　勇（岡山）
小阪一夫（大阪）
松山　操（岡山）
水根昌實（鳥取）
永松三衛（山口）
西　芳彥（和歌山）
崔　應植（朝鮮）

齋藤富雄（新潟）　城丸一雄（石川）
鈴山九十九（岡山）　田中喜次（石川）
谷口文穂（鳥取）　局巖（福岡）
上原馨（鳥取）　渡邊登（岡山）
山田厚志（鳥取）　山田勳（鳥取）
山田健吉（滋賀）　山田光雄（佐賀）
八島秋次郎（廣島）　保江正義（岡山）
弓立忍（愛媛）

○昭和六年十二月二十六日卒業（一人）

平川昌三（廣島）

○昭和七年三月十五日卒業（第九回）（三十七人）

藤重智世生（山口）　長谷部與一（岡山）
長谷川喜亮（島根）　橋岡良夫（大阪）
林馨（兵庫）　平田（田村改）隆祐（鳥取）
堀田春道（愛知）　河合大三郎（鳥取）
片山貞吾（岡山）　岸田新八郎（鳥取）
甲邊繁（島根）　町田祐三（群馬）
三日月直之（愛媛）　三島武（島根）
宮本新藏（廣島）　森山實（島根）
西田武雄（岡山）　大庭玉治（島根）
岡崎正信（島根）　大元操（廣島）
太田正（岡山）　大歲計夫（兵庫）
佐々木勳（鳥取）　瀬川彌太郎（京都）
下方滿治（山口）　住村安雄（鳥取）
高橋惣市（鳥取）　田中豊（鳥取）



寺谷茂夫（鳥取）　戸田忠兵衛（奈良）
德田巖（岡山）　和田平八郎（岡山）
山田義郎（岡山）　山根二郎（鳥取）
山崎永雄（鳥取）　横山與美行（廣島）
吉次光郎（鳥取）

○昭和七年五月二日卒業（一人）

萬藤運惠（山口）

○昭和八年三月十五日卒業（第十回）（三十六人）

阿部弓人（鳥取）　萬代然一（島根）
大西春人（山口）　藤田由之助（兵庫）
早內政雄（島根）　堀內俊治（奈良）
石內乙兒（福岡）　板持幸富（島根）
梶島一春（福岡）　鎌谷巖（鳥取）
甲木喬（福岡）　河原卯太郎（鳥取）
宮本健太郎（兵庫）　森本泰二（鳥取）
永井健三（奈良）　中田硬（鳥取）
繩田又太郎（鳥取）　錦織健次郎（島根）
縫直巳（鳥取）　小野山良孝（福岡）
白神虎雄（岡山）　末永次郎（山口）
高江行直（鹿兒島）　高橋勝（岡山）
田中初雄（鳥取）　田中重遠（鳥取）
谷本喜一（鳥取）　寺田豊（山口）
照屋林起（沖繩）　坪（川上改）倉茂男（鳥取）
瓜生知助（岡山）　潮忠明（島根）
和田初治（兵庫）　渡邊輝雄（大阪）

横山　匠（兵庫）　吉岡壽滿二（岡山）

○昭和九年三月十五日卒業（第十一回）（三十二人）

藤田義雄（鳥取）　船越堅一（鳥取）
羽原　保（岡山）　日森武樹（島根）
平尾清一（廣島）　石龜敏夫（福岡）
岩本靜男（山口）　神庭郁夫（島根）
上根政幸（鳥取）　勝部一三（鳥取）
甲木　茂（福岡）　木戸博治（兵庫）
小早川虎雄（廣島）　丸田稻雄（長野）
松本榮靜（高知）　森田　勇（埼玉）
森友三治（福岡）　中井　清（廣島）
中村正年（鳥取）　中島一夫（福岡）
岡田良二郎（新潟）　岡村美佐雄（鳥取）
坂口純三（鳥取）　酒井　興（神奈川）
杉山　光（神奈川）　高崎善慶（岐阜）
高山　武（岡山）　田中吉溫（鳥取）
飛永英次（福岡）　鶴岡保晴（愛媛）
上原久正（京都）　山口善藏（福岡）

農藝化學科

○大正十三年三月十八日卒業（第一回）（二十一人）

秋本信吉（鳥取）　荒川左千代（宮崎）
粟野宗一（兵庫）　×幅田洋美（鳥取）
細田克己（島根）　伊庭　勇（鳥取）
井口　透（福島）　今井次郎（宮城）
小針光一（福島）　松田清勝（鳥取）



村雲謙次郎（愛知）　永見一男（鳥取）
×南部節夫（鳥取）　野海武德（島根）
尾中文彥（兵庫）　小山內行雄（北海道）
杉本　登（高知）　田所　環（高知）
田中正一（愛知）　吉田　亮（鳥取）
吉岡丈夫（鳥取）

○大正十三年四月一日卒業（一人）

島津彰一郎（北海道）

○大正十四年三月十五日卒業（第二回）（二十二人）

安部庄三郎（平中改）（大阪）　安東富次（岡山）
福井倍夫（鳥取）　飯岡藤一郎（茨城）
石田英雄（佐野改）（兵庫）　伊藤康夫（島根）
柿原喜多朗（愛知）　岸田大八郎（鳥取）
松本由友（島根）　松岡　等（香川）
三木公德（鳥取）　盛　清彥（鹿兒島）
大槻健藏（兵庫）　佐久間芳之（岐阜）
佐々木　昌（島根）　澤　正治（鳥取）
竹內錡二（鳥取）　田中憲太郎（山本改）（鳥取）
谷口勇雄（長谷川改）（兵庫）　矢木　博（鳥取）
米村宇惠男（鳥取）　吉野　榮（千葉）

○大正十五年三月十五日卒業（第三回）（二十六人）

安藤典夫（鳥取）　榎木伊八（滋賀）
長谷川三郎（新潟）　伊墻茂福（鳥取）
岩城國武（鳥取）　陳內博喜（熊本）
柿原尙夫（愛知）　金田義久（島根）

金　章　鉉（朝　鮮）　金原保平（靜　岡）
熊谷靜雄（島　根）　松浦　章（廣　島）
仲原善一（鳥　取）　中原喜一（鳥　取）
岡本俊二（兵　庫）　岡坂貞夫（香　川）
太田忠善（鳥　取）　大谷義夫（愛　媛）
四宮守正（鳥　取）　高崎良一（三　重）
玉井清人（兵　庫）　田中達雄（岡　山）
上田康夫（鳥　取）　山田茂夫（石　川）
×山田與一（長　崎）　横田榮介（岩　手）（仲村渠改）

○昭和二年三月十五日卒業（第四回）（二十七人）

穴山逸民（鳥　取）　麻川　渉（岡　山）
福田千代己（鳥　取）　古川對馬（長　崎）
原田富造（兵　庫）　日比英夫（鳥　取）
樋口新吾（佐　賀）　平松種將（愛　媛）
伊庭正道（鳥　取）　伊吹庄治（鳥　取）
板倉一郎（廣　島）　川端章夫（岡　山）（西崎改）
北山　潔（鳥　取）　正木十二郎（廣　島）
宮内　剛（島　根）（岡田改）　森　猛雄（福　岡）
佐野道五郎（愛　知）　佐々木壯六（東　京）
澁山益雄（島　根）　鹿田二郎（鳥　取）
清水生禾（廣　島）　高橋俊夫（鳥　取）
田中義英（鳥　取）（林原改）　鶴石壽男（鳥　取）
宇都宮　要（愛　媛）　×八幡伊鹿（島　根）
山根東一（鳥　取）

○昭和二年六月一日卒業（一人）



山本勇一（兵　庫）

○昭和三年三月十五日卒業（第五回）（二十二人）

福田辰治（鳥　取）　福田哲夫（長　崎）
林　正植（廣　島）　平賀賢三（廣　島）
平和健吉（京　都）　井上辰男（新　潟）
石濱省吾（茨　城）　宮城清昌（沖　繩）
三好治男（山　口）　三澤喜一（東　京）
六宗太夫（廣　島）　岡村源次（山　口）
奥田武雄（鳥　取）　押田　通（兵　庫）
坂口　精（鳥　取）（岩田改）　田北四郎（大　阪）
高垣光德（鳥　取）（田中改）　田中　耕（鳥　取）
谷口晴敏（鳥　取）　馬田　豊（和歌山）
山根駿甫（山　口）　横山太郎（島　根）

○昭和四年三月十五日卒業（第六回）（二十六人）

近政熊治（岡　山）　福田四郎（島　根）
舟岡直次（富　山）　古谷貞治（山　口）
花谷　薫（廣　島）　平井綱太郎（奈　良）
細田芳人（鳥　取）　細川信雄（和歌山）
市谷義正（鳥　取）　石橋整吾（岡　山）
加藤佐武郎（新　潟）　勝山福彦（鳥　取）
小林源吉（奈　良）　小久江良太郎（鳥　取）
長畑宗明（福　岡）　小川幸男（鳥　取）
岡本　操（兵　庫）　太田誠一（靜　岡）
關　嘉雄（秋　田）　新本三吾（廣　島）
田村五郎（岩　手）　友長　榮（岡　山）

和田一良（高知）　山本靜治（山口）
安田安治郎（京都）　横山春男（鳥取）

○昭和五年三月十五日卒業（第七回）（二十九人）

荒川儀美（廣島）　近間映良（山口）
×出口長利（大分）　藤井光禎（鳥取）
福井滿男（鳥取）　福嶋正男（鳥取）
古田喜久治（鳥取）　廣瀬甚吉（徳島）
本多節造（鳥取）　石丸　謀（愛媛）
磯野幸雄（鳥取）　菅田五夫（岡山）
×川崎善一（福井）　河重　忠（山口）
小泉英夫（鳥取）　永田久雄（福島）（平野改）
中村市左衛門（大阪）　成瀬達郎（鳥取）（喜久雄改）
岡田卓穂（京都）　芝田明正（鳥取）
瀧　進（佐賀）　谷山律三（愛媛）
徳永鐵藏（鳥取）　上田治一（岐阜）
渡邊知己（兵庫）　山田芳藏（鳥取）
山本　稔（鳥取）　柳瀬正光（岐阜）
吉村甚吉（鳥取）

○昭和六年三月十五日卒業（第八回）（二十七人）

阿部忠夫（廣島）　赤木要男（岡山）
赤松　隆（兵庫）　福田良正（鳥取）
福谷貞胤（鳥取）　石本茂美（山口）
岩本運治（山口）　岩崎利夫（兵庫）
衣川美佐男（京都）　北枝敏彰（山口）
近藤貞治（鳥取）　增井速水（鳥取）



松本達二（岡山）　米良正雪（熊本）
森本松夫（島根）　七里能憲（鳥取）
西尾三郎（鳥取）　小川壽一（鹿兒島）
岡野周一（石川）　太田垣貞保（兵庫）
園山眞一（島根）　田中永治（鳥取）
渡邊至剛（福岡）　瓜生從次（岡山）
山根史郎（廣島）　横木　稔（鳥取）
米澤皎平（鳥取）

○昭和七年三月十五日卒業（第九回）（二十七人）

雨河敏郎（鳥取）　×福田昌一（鳥取）
稻垣恒雄（奈良）　梶谷榮一（兵庫）
金子敬三（山口）　唐内平三（廣島）
河村　勝（山口）　北脇千吉郎（鳥取）
小林克己（京都）　松林開三（廣島）
松浦　守（島根）　×水本貞雄（兵庫）
成田　功（青森）　恩田春治（鳥取）
太田阿佐（鳥取）　進野岳夫（福岡）
鷲見一夫（鳥取）　田村光顯（山口）
田中　篤（鳥取）　田中祐彦（鳥取）
垰本　曉（廣島）　德岡一夫（兵庫）
渡邊房夫（愛媛）　渡邊改治（鳥取）
米村　功（鳥取）　吉村正章（鳥取）
吉岡　等（大阪）

○昭和八年三月十五日卒業（第十回）（三十人）

秋田　收（山口）　濱田　實（鹿兒島）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 平島卓爾 | （福岡） | 礒江仁三郎 | （鳥取） |
| 金田幸廣 | （鳥取） | 片山武男 | （福岡） |
| 河村種夫 | （山口） | 木村孝夫 | （廣島） |
| 木村義厚 | （鳥取） | 木山　鳳 | （岡山） |
| 小林　薫 | （福岡） | 小谷英男 | （鳥取） |
| 神武半十郎 | （福岡） | 黒田義秋 | （兵庫） |
| 美田　操 | （鳥取） | 元崎信一 | （熊本） |
| 中川愼三 | （廣島） | 小川　通 | （鳥取） |
| 齋藤　力 | （島根） | 澤　壽治 | （鳥取） |
| 高田嶺吉 | （鳥取） | 田代九州男 | （熊本） |
| 辻口孝治 | （石川） | 渡邊三郎 | （靜岡） |
| 山田　昂 | （東京） | 山田嘉雄 | （鳥取） |
| 山桝一郎 | （鳥取） | 山本虔二郎 | （京都） |
| 安田勇二 | （京都） | 吉持治昌 | （鳥取） |

○昭和九年三月十五日卒業（第十一回）（二十二人）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 有本進作 | （新潟） | 市川　信 | （靜岡） |
| 市野正之 | （新潟） | 井上尙賢 | （島根） |
| 石津　戊 | （廣島） | 香田寛二 | （島根） |
| 桑原　孝 | （福岡） | 松宮　清 | （大阪） |
| 松本恒男 | （鳥取） | 松岡茂信 | （山口） |
| 三谷長良 | （島根） | 西村泰三 | （兵庫） |
| 太田元信 | （山口） | 坂尾　茂 | （鳥取） |
| 田村喜春 | （山口） | 鳥田忠三 | （三重） |
| 宇田　鑑 | （鳥取） | 上田俊之 | （鳥取） |
| 涌島惠正 | （鳥取） | 山田　茂 | （島根） |



山口　整（廣島）　大和富康（長崎）

## 1. 卒業生年度別表

| 科別＼年次 | 大正13 | 大正14 | 大正15 | 昭和2 | 昭和3 | 昭和4 | 昭和5 | 昭和6 | 昭和7 | 昭和8 | 昭和9 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農學科 | 31 | 34 | 37 | 37 | 36 | 40 | 37 | 35 | 38 | 37 | 32 | 394 |
| 農藝化學科 | 22 | 22 | 26 | 28 | 22 | 26 | 29 | 27 | 27 | 30 | 22 | 281 |
| 合計 | 53 | 56 | 63 | 65 | 58 | 66 | 66 | 62 | 65 | 67 | 54 | 675 |

## 2. 卒業生卒業後ノ狀況　（昭和九年四月末日調）

| 種別 | 農學科 | 農藝化學科 | 計 |
|---|---|---|---|
| 官吏 | 78 | 77 | 155 |
| 實業學校教員 | 72 | 39 | 111 |
| 中等學校教員 | 26 | 27 | 53 |
| 農事試驗場員 | 45 | 19 | 64 |
| 穀物檢査所員 | 28 | 4 | 32 |
| 農業技術員 | 16 | 5 | 21 |
| 銀行會社員 | 17 | 35 | 52 |
| 大學在學生 | 11 | 6 | 17 |
| 家業ニ從事 | 62 | 43 | 105 |
| 兵役 | 10 | 7 | 17 |
| 在外國 | 5 | 4 | 9 |
| 其ノ他 | 10 | 7 | 17 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 死　　亡 | 14 | 8 | 22 |
| 合　　計 | 394 | 281 | 675 |

### 3. 卒業生地方分布ノ狀況　（昭和九年四月末日調）

| 地　方 | 農學科 | 農藝化學科 | 計 | 地　方 | 農學科 | 農藝化學科 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道廳 | 5 | 6 | 11 | 石川縣 | 1 | 2 | 3 |
| 青森縣 | 6 | 1 | 7 | 福井縣 | — | 1 | 1 |
| 岩手縣 | 1 | 1 | 2 | 山梨縣 | 4 | — | 4 |
| 宮城縣 | 1 | 1 | 2 | 長野縣 | 4 | 1 | 5 |
| 秋田縣 | 3 | 2 | 5 | 岐阜縣 | 3 | 1 | 4 |
| 山形縣 | 3 | — | 3 | 靜岡縣 | 8 | 4 | 12 |
| 福島縣 | 2 | 2 | 4 | 愛知縣 | 6 | 4 | 10 |
| 茨城縣 | 2 | 3 | 5 | 三重縣 | 4 | 1 | 5 |
| 栃木縣 | — | — | — | 滋賀縣 | 4 | 1 | 5 |
| 群馬縣 | 1 | 2 | 3 | 京都府 | 15 | 8 | 23 |
| 埼玉縣 | 4 | 1 | 5 | 大阪府 | 21 | 21 | 42 |
| 千葉縣 | 1 | 4 | 5 | 兵庫縣 | 17 | 16 | 33 |
| 東京府 | 20 | 14 | 34 | 奈良縣 | 6 | 2 | 8 |
| 神奈川縣 | 7 | 2 | 9 | 和歌山縣 | 8 | 4 | 12 |
| 新潟縣 | 5 | 1 | 6 | 鳥取縣 | 57 | 33 | 90 |
| 富山縣 | 4 | 1 | 5 | 島根縣 | 29 | 10 | 39 |



| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 岡山縣 | 11 | 13 | 24 | 大分縣 | 4 | 1 | 5 |
| 廣島縣 | 11 | 14 | 25 | 宮崎縣 | 3 | — | 3 |
| 山口縣 | 16 | 9 | 25 | 鹿兒島縣 | — | 2 | 2 |
| 德島縣 | 1 | 1 | 2 | 沖繩縣 | 1 | — | 1 |
| 香川縣 | 1 | 2 | 3 | 臺灣 | 8 | 17 | 25 |
| 愛媛縣 | 5 | 3 | 8 | 朝鮮 | 32 | 28 | 60 |
| 高知縣 | 5 | 1 | 6 | 滿洲 | 5 | 8 | 13 |
| 福岡縣 | 11 | 11 | 22 | 中華民國 | 1 | — | 1 |
| 佐賀縣 | 2 | 1 | 3 | 南洋 | 3 | 1 | 4 |
| 長崎縣 | 1 | 2 | 3 | 南米 | 2 | 4 | 6 |
| 熊本縣 | 5 | 5 | 10 | 合計 | 380 | 273 | 653 |

## Ⅶ　土地建物

### 1. 土　地

| | | | |
|---|---|---|---|
| 校舍敷地 | 10.073 坪 | 運動場 | 5.727 坪 |
| 植物園 | 554 | 農場敷地 | 4.928 |
| 水田 | 15.712 | 普通作畑 | 8.746 |
| 蔬菜園 | 1.902 | 作物見本園 | 1.188 |
| 果樹園 | 4.333 | 桑園 | 1.827 |
| 花壇 | 1.252 | 牧草地 | 2.838 |
| 實習林 | 9.167 | 合計 | 68.247 |

## 2. 建　　物

| 名　稱 | 棟數 | 構　造 | 坪數 | 價　格 | 竣工年度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 坪 | 円 | | |
| 本館及事務室 | 1 | 木造二階建 | 355.284<br>710.568 | 205.102.500 | 大正 9 年度 | |
| 玄　關 | 1 | 木造平家建 | 12.500 | 7.411.840 | 同 | |
| 特別教室 | 2 | 同 | 85.000 | 34.279.060 | 同 | |
| 講　堂 | 1 | 木造平家建ギヤラリ付 | 124.000<br>174.145 | 53.823.320 | 大正12年度 | 圖書館共 |
| 高廊下 | 1 | 木造平家建 | 4.000 | 1.050.000 | 同 | |
| 柔劍道場 | 1 | 同 | 73.000 | 18.245.500 | 同 | |
| 學生控所 | 1 | 同 | 90.000 | 24.300.000 | 大正10年度 | |
| 便　所 | 1 | 同 | 9.000 | 3.250.000 | 同 | |
| 農學科生物學教室 | 1 | 同 | 108.000 | 38.128.000 | 同 | 硝子室共 |
| 生物學教室附屬小使室 | 1 | 同 | 8.000 | 2.885.000 | 同 | |
| 火焚場 | 1 | 同 | 1.000 | 280.000 | 同 | |
| 養蟲室 | 1 | 木造平家建一部硝子屋根 | 20.000<br>25.000 | 2.429.140 | 昭和 5 年度 | 内5坪ハ地下室 |
| 第一農藝化學教室 | 1 | 木造平家建 | 170.000 | 60.400.000 | 大正10年度 | |
| 第二農藝化學教室 | 1 | 同 | 170.000 | 46.639.450 | 同 | |
| 硫化水素發生室 | 1 | 同 | 6.750 | 2.787.610 | 同 | 便所共 |
| 動力室 | 1 | 同 | 10.000 | 2.780.000 | 大正11年度 | |
| 藥品室 | 1 | 同 | 15.000<br>17.000 | 4.550.000 | 同 | 延坪ノ内2坪ハ地下室 |
| 硝子室 | 1 | 木造平家建硝子屋根 | 21.000 | 5.800.000 | 同 | |
| 危險物處理室 | 1 | 鐵筋コンクリート平家建 | 15.000 | 4.200.000 | 同 | |
| 便　所 | 1 | 木造平家建 | 1.000 | 238.500 | 大正10年度 | |
| 化學教室分析室 | 1 | 同 | 20.000 | 4.826.701 | 昭和 3 年度 | |
| 小動物飼育室 | 1 | 同 | 18.000 | 3.321.000 | 昭和 4 年度 | |



| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 同附屬渡廊下 | 1 | 同 | 3.000 | 383.000 | 同 | |
| 書　庫 | 1 | 煉瓦造二階建 | 24.000<br>48.000 | 15.544.710 | 大正11年度 | |
| 倉　庫 | 1 | 同 | 24.000<br>48.000 | 13.165.000 | 同 | |
| 小使室 | 1 | 木造平家建 | 27.000 | 4.409.000 | 大正 9 年度 | |
| 便　所 | 1 | 同 | 8.000 | 1.999.000 | 同 | |
| 物　置 | 1 | 同 | 22.500 | 3.694.000 | 同 | |
| 貯炭室 | 1 | 同 | 12.500 | 1.998.040 | 同 | |
| 寄宿舍 | 3 | 木造二階建 | 285.250<br>570.500 | 90.998.600 | 大正10年度 | |
| 玄　關 | 1 | 木造平家建 | 1.500 | 535.185 | 同 | |
| 學生昇降口 | 1 | 同 | 9.000 | 2.573.965 | 同 | |
| 寄宿舍附屬賣店 | 1 | 同 | 14.583 | 3.786.425 | 同 | |
| 食堂炊事場浴室 | 1 | 同 | 130.000 | 26.811.900 | 同 | |
| 便　所 | 2 | 同 | 13.000 | 3.865.000 | 同 | |
| 物　置 | 1 | 同 | 18.000 | 3.841.700 | 同 | |
| 廊下及洗面所 | 1 | 同 | 9.000 | 1.476.000 | 同 | |
| 渡廊下 | 20 | 同 | 131.500 | 22.247.310 | 同 | |
| 生徒主事官舍 | 1 | 木造二階建 | 26.859<br>39.515 | 7.588.714 | 大正12年度 | |
| 寄宿舍附屬娛樂室 | 1 | 木造平家建 | 20.250 | 810.000 | 昭和 2 年度 | |
| 同上附屬渡廊下 | 1 | 同 | 1.000 | 30.000 | 同 | |
| 農場事務室 | 1 | 木造二階建 | 60.000<br>120.000 | 27.016.000 | 大正10年度 | |
| 農夫控所 | 1 | 木造平家建 | 11.250 | 3.256.000 | 同 | |
| 渡廊下及便所 | 1 | 同 | 7.000 | 1.465.000 | 同 | |
| 養蠶舍 | 1 | 木造二階建 | 78.000<br>170.000 | 29.318.340 | 大正11年度 | |
| 便所及物置 | 1 | 木造平家建 | 2.500 | 975.000 | 同 | 一部地下室 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 物置 | 1 | 同 | 6.000 | 1.056.549 | 同 | |
| 農産製造舍 | 1 | 煉瓦及木造平家建一部中二階建 | 50.000<br>59.400 | 12.902.000 | 同 | 內9坪ハ中二階 |
| 鑵詰製造實驗室 | 1 | 木造平家建 | 30.000 | 4.136.902 | 昭和6年度 | |
| 同附屬家 | 1 | 同 | 10.000 | 1.479.978 | 昭和7年度 | |
| 同渡廊下 | 1 | 同 | 1.000 | 80.000 | 同 | |
| 農産實習室 | 1 | 同 | 50.000 | 4.049.120 | 同 | |
| 農具舍 | 1 | 同 | 48.000 | 8.000.000 | 大正11年度 | |
| 作業場 | 1 | 同 | 40.000 | 7.250.000 | 同 | |
| 動力作業室 | 1 | 木造平家建一部鐵筋コンクリート | 40.000 | 7.398.455 | 大正15年度<br>昭和元年度 | |
| 作物育種實驗室 | 1 | 木造平家建硝子張 | 15.000 | 2.235.000 | 昭和2年度 | |
| 同上附屬室 | 1 | 木造平家建 | 5.000 | 1.488.100 | 同 | |
| 大農具置場 | 1 | 同 | 30.000 | 2.884.000 | 昭和4年度 | |
| 納屋 | 1 | 同 | 30.000<br>36.000 | 6.516.000 | 大正11年度 | 內6坪屋階 |
| 下家 | 1 | 同 | 10.000 | 880.000 | 同 | |
| 堆肥舍 | 1 | 同 | 32.000 | 4.971.000 | 同 | |
| 家禽舍 | 1 | 木造二階建平家建 | 4.500<br>9.000<br>25.500 | 5.841.000 | 同 | |
| 育雛舍 | 1 | 木造平家建 | 13.750 | 3.065.000 | 同 | |
| 鶏舍 | 1 | 同 | 18.000 | 1.165.080 | 昭和7年度 | |
| 鶏舍附屬飼料室 | 1 | 同 | 15.000 | 1.200.000 | 同 | |
| 水禽舍 | 1 | 同 | 1.500 | 439.000 | 大正11年度 | |
| 水肥舍 | 1 | 同 | 10.000 | 1.926.400 | 同 | |
| 豚舍 | 1 | 同 | 24.000 | 5.000.000 | 同 | |
| 羊山羊舍 | 1 | 同 | 30.000<br>41.666 | 6.500.000 | 同 | 內11.666ハ屋階 |



| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 牛馬舍 | 1 | 同 | 74.250<br>141.750 | 24.000.000 | 同 | 內67.5ハ屋階 |
| 附屬サイロ | 1 | 鐵筋コンクリート造 | 2.935 | 2.750.000 | 同 | 高家1坪ハ除ク |
| 高家 | 1 | 木造平家造 | 1.000 | 400.000 | 同 | |
| 畜産製造舍 | 1 | 同 | 58.250 | 16.211.000 | 同 | |
| 燻煙室 | 1 | 鐵筋コンクリート平家造 | 3.000 | 1.495.000 | 同 | |
| 便所 | 1 | 木造平家建 | 1.000 | 238.500 | 同 | |
| 温室 | 1 | 煉瓦及木造平家建硝子屋根 | 81.000 | 22.419.000 | 同 | |
| 附屬作業場 | 1 | 木造平家建 | 19.620 | 3.914.170 | 同 | |
| 果樹室 | 1 | 鐵筋コンクリート及木造平家建硝子屋根 | 30.000 | 6.210.736 | 同 | |
| 記念會館 | 1 | 木造二階建 | 64.690<br>105.060 | 8.820.000 | 昭和6年度 | |
| 記念會館附屬小使室 | 1 | 木造平家建 | 4.000 | 1.105.000 | 大正11年度昭和6年度改造 | |
| 合計 | 103 | | 3.155.221<br>4.204.992 | 972.542.600 | | |

附　錄

## 鳥取高等農業學校校友會會則

### 第一章　名　稱

第一條　本會ハ鳥取高等農業學校校友會ト稱ス

### 第二章　事務所

第二條　本會ノ事務所ハ鳥取高等農業學校内ニ置ク

### 第三章　目　的

第三條　本會ノ目的ハ會員相互ノ親睦ヲ厚クシ智識ノ交換ト心身ノ修養ヲ計リ校風ヲ發揚スルニアリ

### 第四章　會員資格

第四條　本會會員ヲ分チテ左ノ二種トス

1. 通常會員　本校本科／選科在學生
   鳥取縣實業補習學校教員養成所在學生
2. 賛助會員　本校職員及本校緣故者

### 第五章　會員義務

第五條　通常會員ハ會費トシテ毎學期金五圓ヲ納ムルモノトス一旦納付シタル會費ハ如何ナル事情アルモ之ヲ返付セス

第六條　通常會員ハ入會ノ際入會費トシテ金五圓ヲ納ムルモノトス但シ鳥取縣實業補習學校教員養成所在學生ニハ入會金ヲ徵收セス

第七條　在校賛助會員ハ毎月月俸ノ千分ノ五ヲ出金スルモノトス

第八條　校外賛助會員ハ毎年金壹圓以上出金スルモノトス但シ一時ニ金拾圓以上出金シタル者ハ爾後會費ヲ要セサルモノトス

### 第六章　會務分掌

第九條　本會ノ目的ヲ達セム爲メ左ノ十七部ヲ置ク



庶務部　講演部　出版部　寫眞繪畫部
音樂部　柔道部　劍道部　角力部
競技部　卓球部　庭球部　野球部
蹴球部　水泳部　山岳スキー部　乘馬部
弓道部

### 第七章　役　員

第十條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

| | | |
|---|---|---|
| 會長 | 一名 | 本校校長ヲ推戴ス |
| 副會長 | 二名 | 本校各科長ヲ推戴ス |
| 部長 | 若干名 | 在校賛助會員 |
| 副部長 | 若干名 | 同　上 |
| 委員 | 若干名 | 通常會員 |

第十一條　庶務及會計ヲ處理スル爲本校職員中ヨリ庶務主任、收入主任、支出主任ヲ囑託ス

### 第八章　役員ノ任務

第十二條　會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理ス

第十三條　副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十四條　部長ハ部務ヲ掌理シ副部長ハ部長ヲ補佐ス

第十五條　委員ハ部長ノ指揮ヲ受ケ部務ニ從事ス

### 第九章　役員ノ任期

第十六條　部長ノ任期ハ一箇年トシ毎年四月會長之ヲ委囑ス

第十七條　委員ハ通常會員ノ互選ニ依リ之ヲ定メ其任期ハ一箇年トシ毎年十二月ヲ以テ改選ノ期トス

### 第十章　會　計

第十八條　本會ノ會計年度ハ毎年四月ニ始リ翌年三月ニ終ル

第十九條　本會ノ收支豫算ハ役員會ノ決議ヲ經ルモノトス

第二十條　本會ノ收支決算ハ次年度ノ始ニ於テ報告ス

第二十一條　校外賛助會員ノ納入シタル一時金、毎會計年度ノ剰餘金及寄附金ハ基本金ニ編入スルモノトス但シ總會ノ決議ヲ經テ其ノ一部又ハ全部ヲ臨時費又ハ經常費ニ編入スルコトヲ得

第二十二條　基本金ノ利子ハ普通會計ノ收入ニ編入スルモノトス

## 第十一章　雜　則

第二十三條　各部細則ハ部長之ヲ定メ會長ノ認可ヲ受クルモノトス

第二十四條　本會ハ毎年四月總會ヲ開ク但シ時宜ニヨリ臨時總會ヲ開クコトアルヘシ

第二十五條　本則ハ總會ニ於テ出席者ノ半數以上ノ賛成者アルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

第二十六條　會員ニシテ不都合ノ行爲アリト認ムル者ハ役員會ノ決議ニヨリ除名スルコトアルヘシ

# 鳥取農學會會則

第一條　本會ハ鳥取農學會ト稱ス

第二條　本會ハ事務所ヲ鳥取高等農業學校内ニ置ク

第三條　本會ハ農業ニ關スル學術ノ進歩普及ヲ圖ルヲ目的トス

第四條　本會ハ次ノ事業ヲ行フ

1. 例會及講演會ノ開催
2. 會報其ノ他印刷物ノ發行
3. 其ノ他必要ナル事項

第五條　本會會員ハ次ノ二種トス

1. 名譽會員　本會ニ關係深キ學識經驗アル人ニシテ本會會長ノ推



薦ニ依ルモノ

2. 通常會員　通常會員タラントスル者ハ住所、氏名及職業ヲ明記シテ本會事務所ニ申込ミ役員會ノ承諾ヲ經ルモノトス

第六條　通常會員ハ會費トシテ毎年金壹圓ヲ前納スルモノトス、但シ鳥取高等農業學校在職中ノ會員ハ外ニ維持費トシテ年額金壹圓ヲ醵出スルモノトス

第七條　會費トシテ一時金參拾圓以上納付スルモノハ爾後會費ヲ要セス

第八條　退會セントスルモノハ其旨ヲ申出テ役員會ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第九條　會費ヲ納メサルモノ及本會ノ名譽ヲ毀損スルカ如キ行爲アリタルモノハ役員會ノ決議ニヨリ除名ス

第十條　本會ニ次ノ役員ヲ置ク

會長一名、副會長二名、幹事若干名

第十一條　會長ニハ鳥取高等農業學校長ヲ、副會長ニハ同校農學、農藝化學兩科長ヲ推ス

幹事ハ總會ニ於テ毎年其半數ヲ其年度ニ退任セル幹事以外ノ會員中ヨリ新ニ選出シ、任期ヲ二箇年トシ次記ノ事務ヲ分掌ス

1. 庶　務　　2. 會　計　　3. 編　輯

第十二條　本會ニ抄錄委員若干名ヲ置キ本會報ニ登載スル事項ヲ抄出スルモノトシ會長之ヲ委囑ス

第十三條　本會ノ會計年度ハ四月ニ始マリ翌年三月ニ終リ其豫算ハ役員會ノ決議ヲ經ルモノトス

第十四條　本會ノ基本金ハ一時金及寄附金ヲ以テ之ニ充テ總會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス、其利子ハ之ヲ普通會計

ス入編ニ

第十五條　總會ハ毎年四月之ヲ開キ會務ノ報告、幹事ノ改選、規約ノ改正等ヲ行フ、但シ臨時總會ヲ開クコトアルヘシ

總會ノ決議ハ出席會員三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス



昭和九年七月 一 日印刷
昭和九年七月 五 日發行

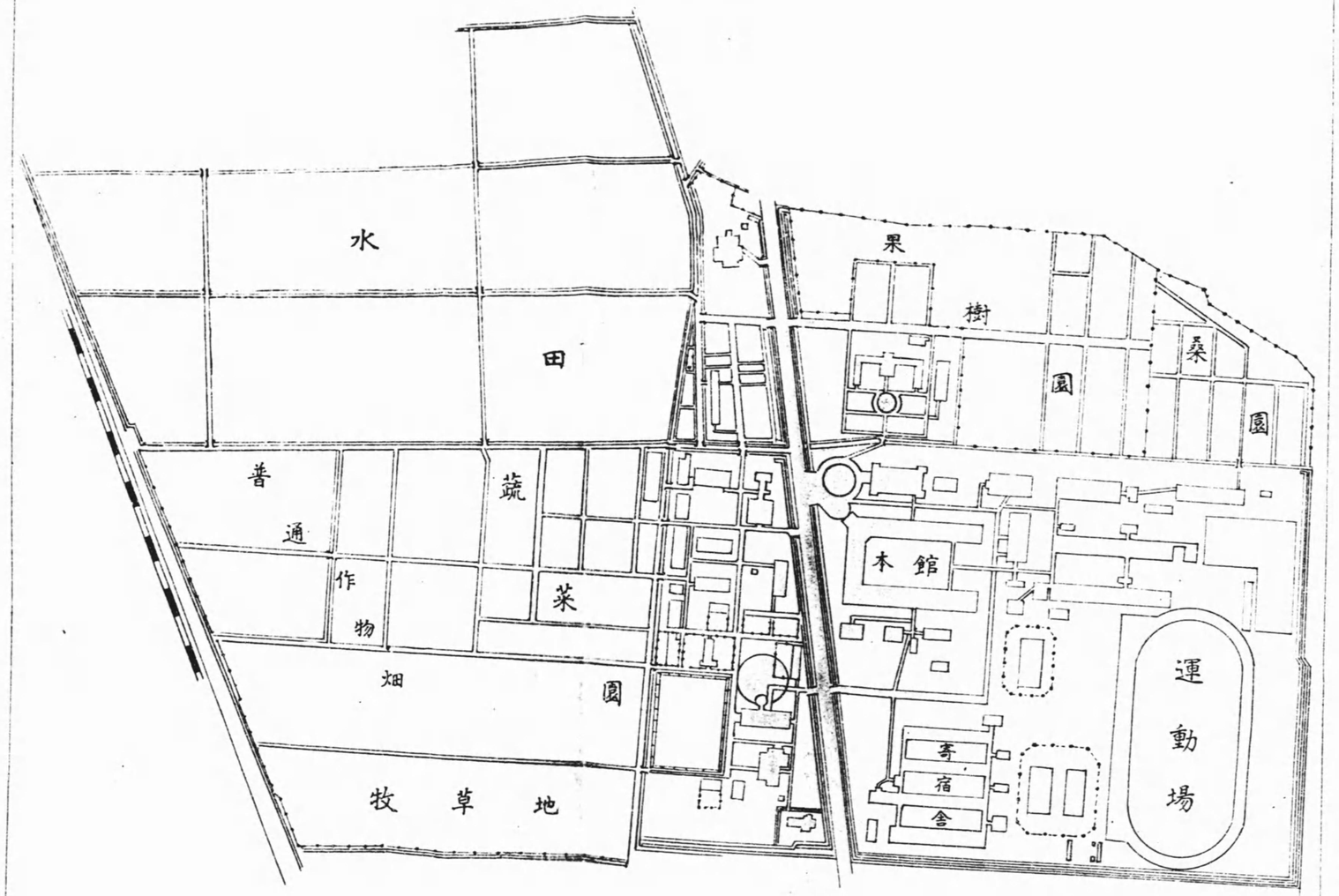
鳥取高等農業學校

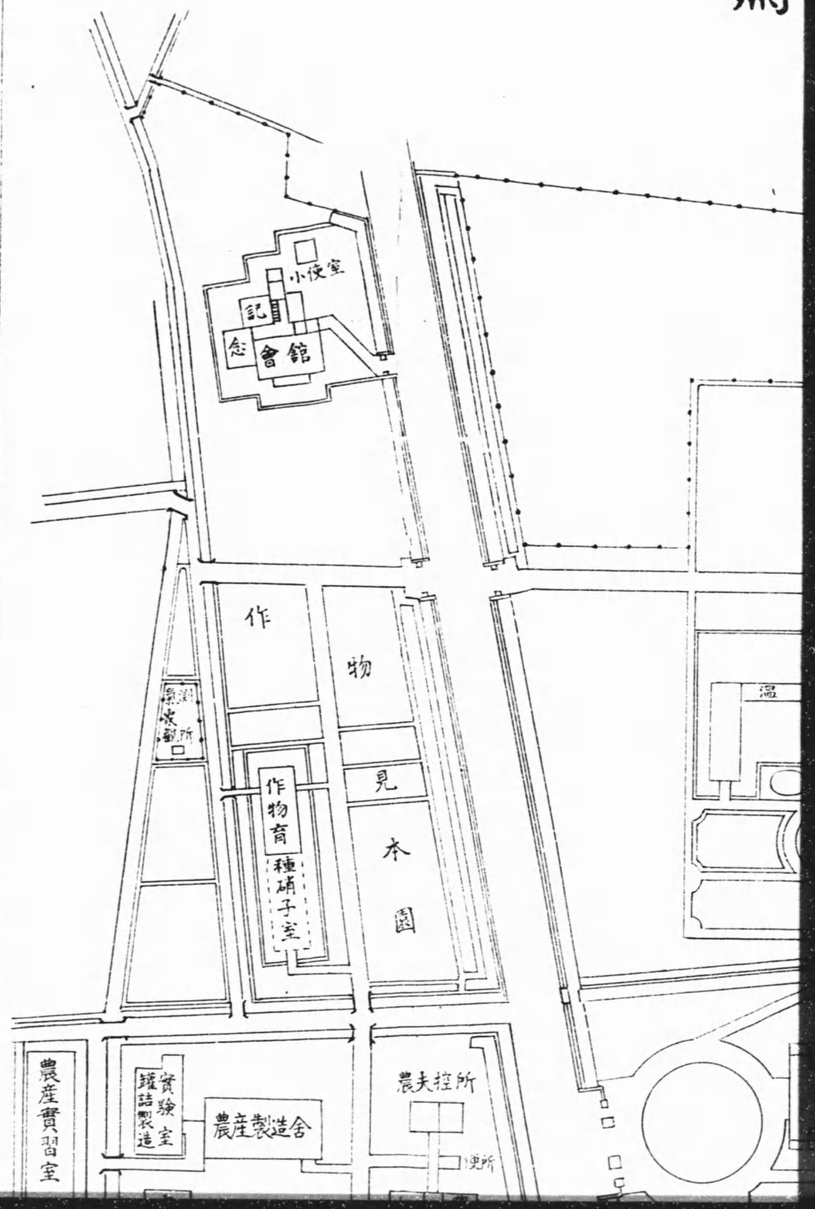
鳥取市吉方町
印刷人 前田芳治郎

鳥取市吉方町
印刷所 前田印刷所
電話八五四番

# 鳥取高等農業學校全圖

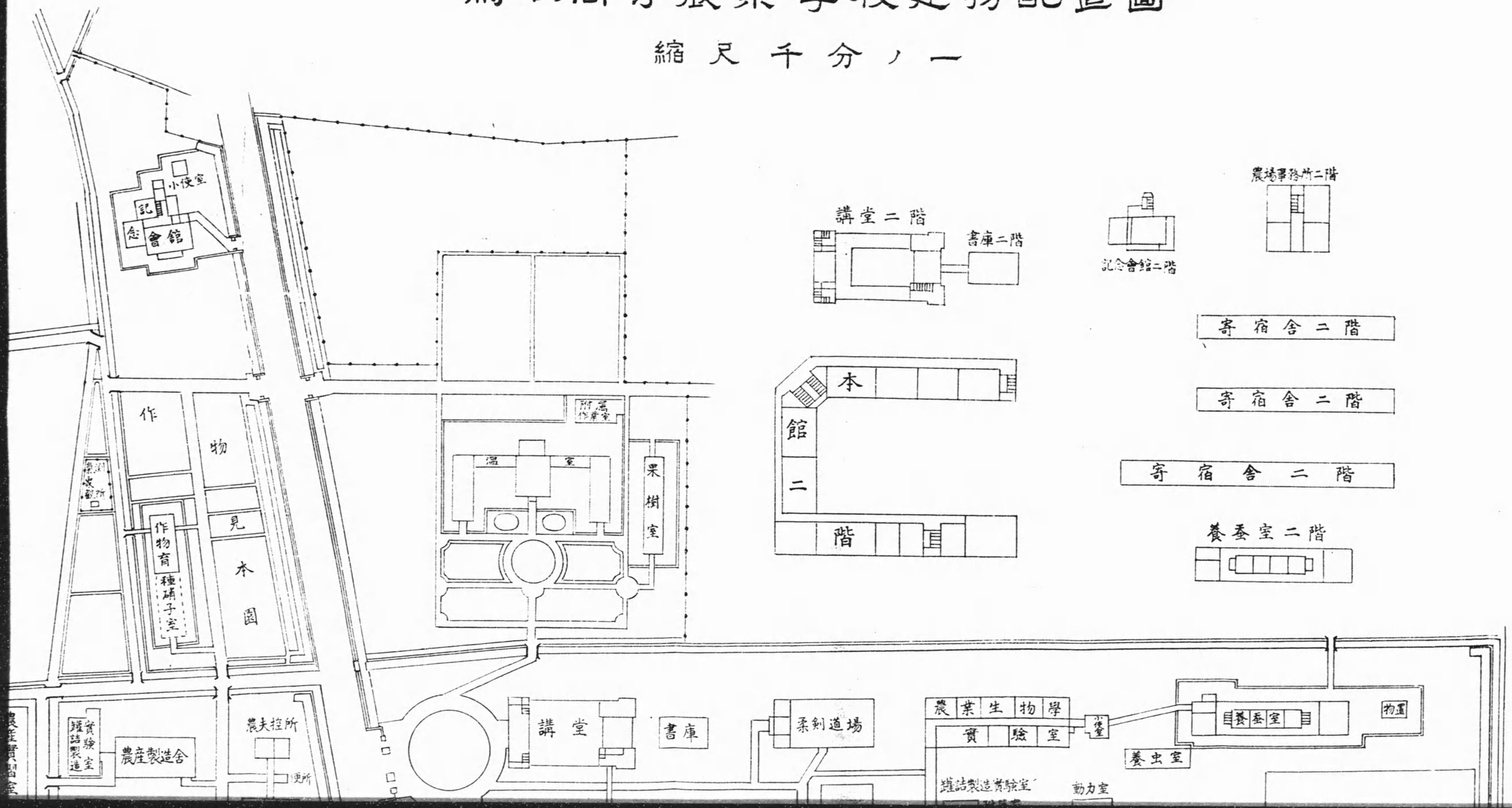
縮尺三千分ノ一



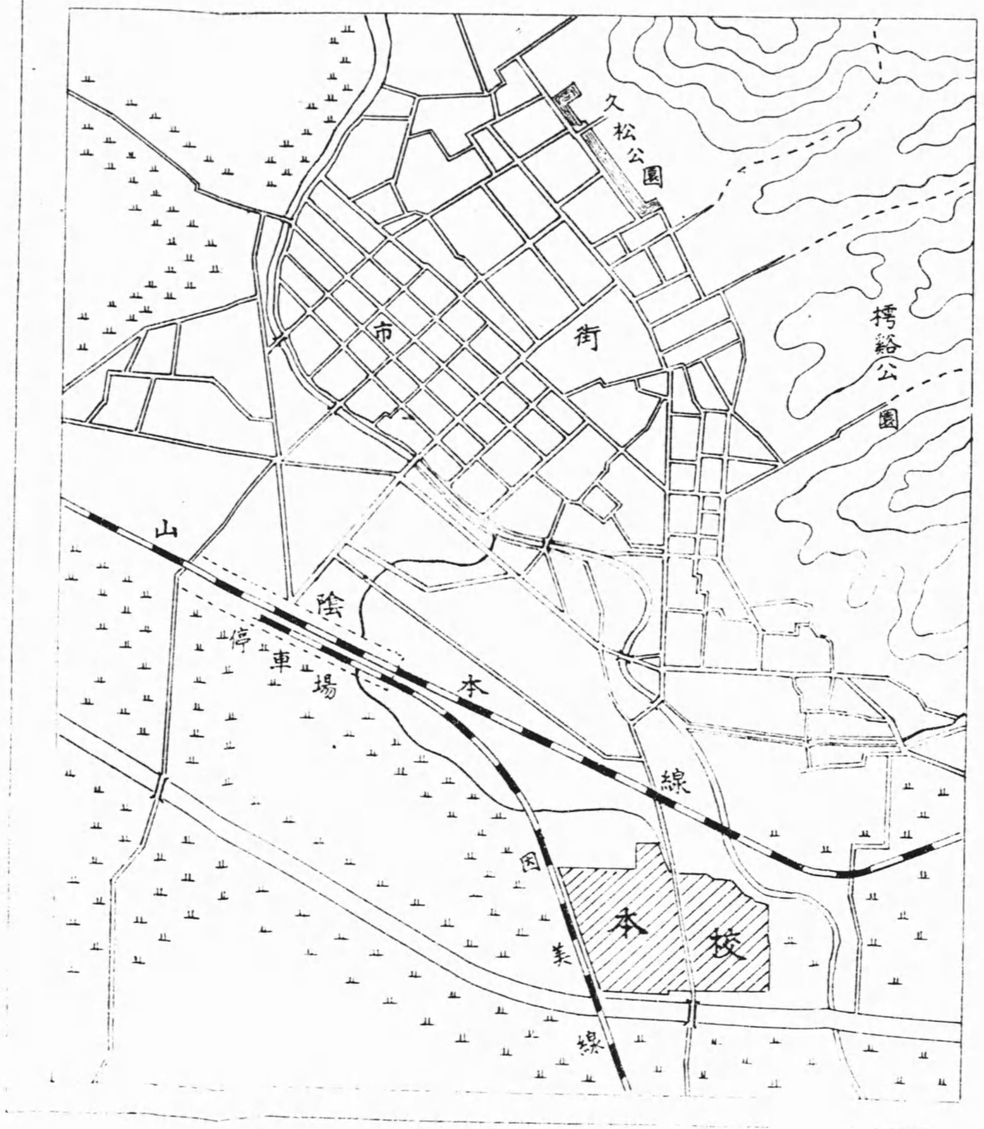
# 鳥取高等農業學校建物配置圖

縮尺千分ノ一



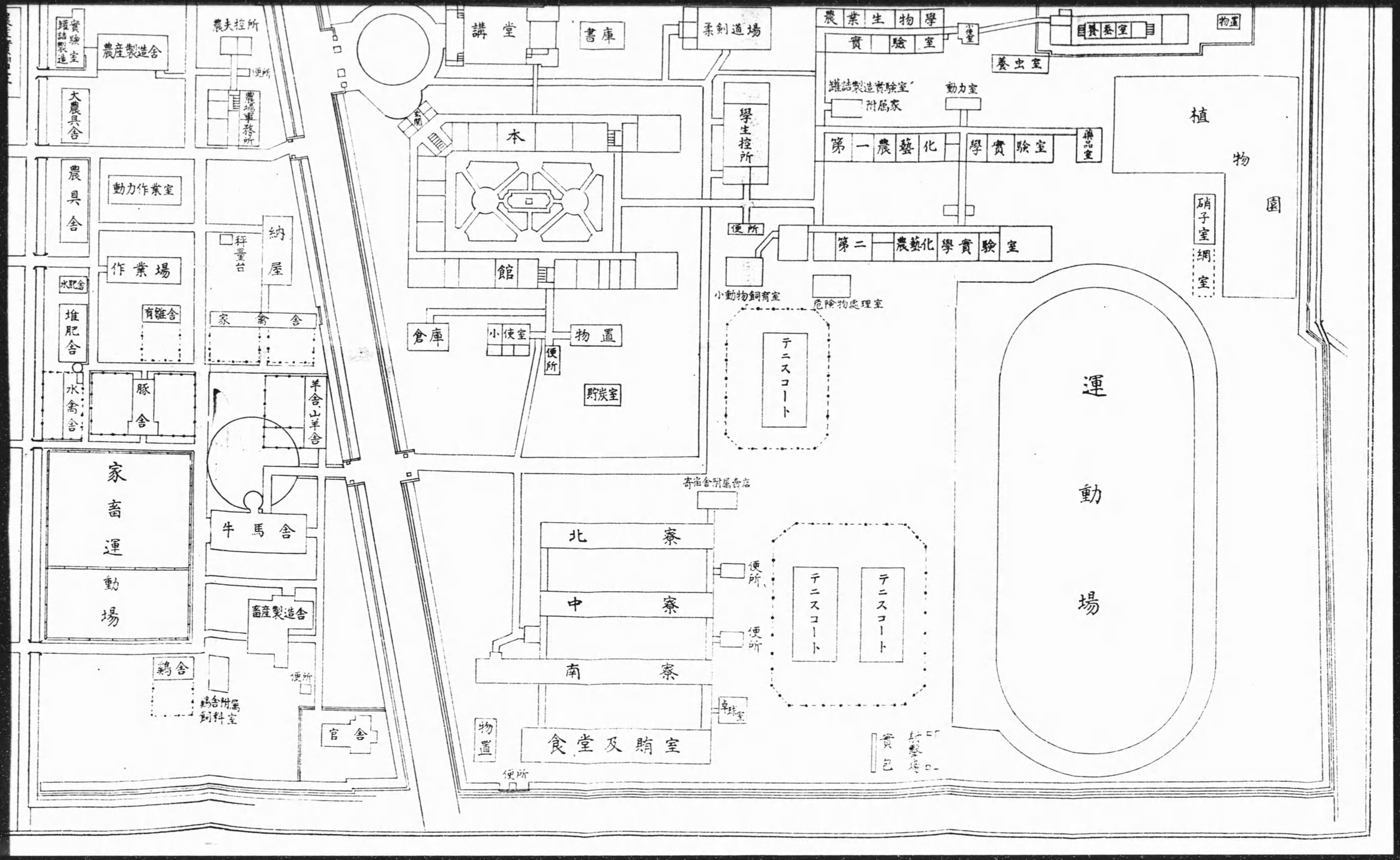
# 鳥取市及本校

縮尺二万分一

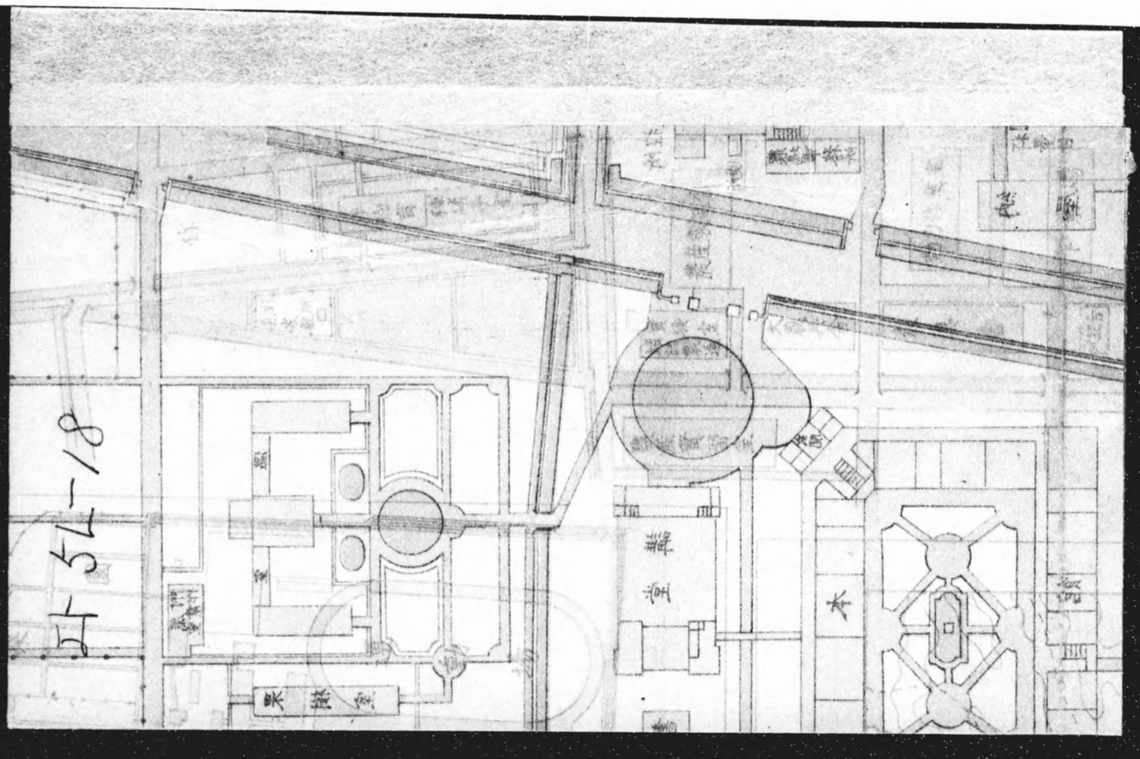



凡例

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 道路 | 水路 | 鐵道 | 土壘 | 網柵 | 鐵柵 | 木柵 |
| 屏 | 門 | 橋 | 池 | 建築物 | 丘 |



講堂
書庫
柔剣道場
農業生物學
實驗室
養蚕室
養蚕室
物置
罐詰製造實驗室
附属家
動力室
植物園
第一農藝化學實驗室
藥品室
硝子室
網室
本館
學生控所
第二農藝化學實驗室
小動物飼育室
危険物處理室
テニスコート
運動場
倉庫
小使室
物置
便所
貯炭室
寄宿舎附属賣店
北寮
中寮
南寮
食堂及賄室
物置
便所
卓球室
テニスコート
テニスコート
實包
射撃場
農夫控所
農場事務所
農産製造舎
實驗室
罐詰製造
大農具舎
農具舎
動力作業室
納屋
秤量台
作業場
水肥舎
堆肥舎
育雛舎
家禽舎
水禽舎
豚舎
羊舎、山羊舎
家畜運動場
牛馬舎
畜産製造舎
鷄舎
鷄舎附属飼料室
官舎



54-18

291

63